

平成27年度決算の概要

目次

I. 福島県の現状～復興から成長へ～

- 1. 福島県の現状2
- 2. 震災からの復興状況3
- 3. 成長に向けた歩み【観光業など】4
 - 成長に向けた歩み【産業振興】5
 - 成長に向けた歩み【産業の集積状況】6

II. 平成27年度 決算の概要

- 1. 平成27年度 決算の概要8
- 2. グループ経営の強化9
- 3. 業容関連
 - (1) 総預かり資産の状況10
 - (2) 貸出金の状況11
 - (3) 個人ローンの状況12
 - (4) 有価証券の状況13
- 4. 収益関連
 - (1) 資金利益の状況14
 - (2) 役務取引等収益（手数料収入）の状況15
- 5. 経営体質
 - (1) 貸出資産の質16
 - (2) 経営の健全性17
- 6. 株主の皆さまへ18

III. 平成27年度の主な取組み

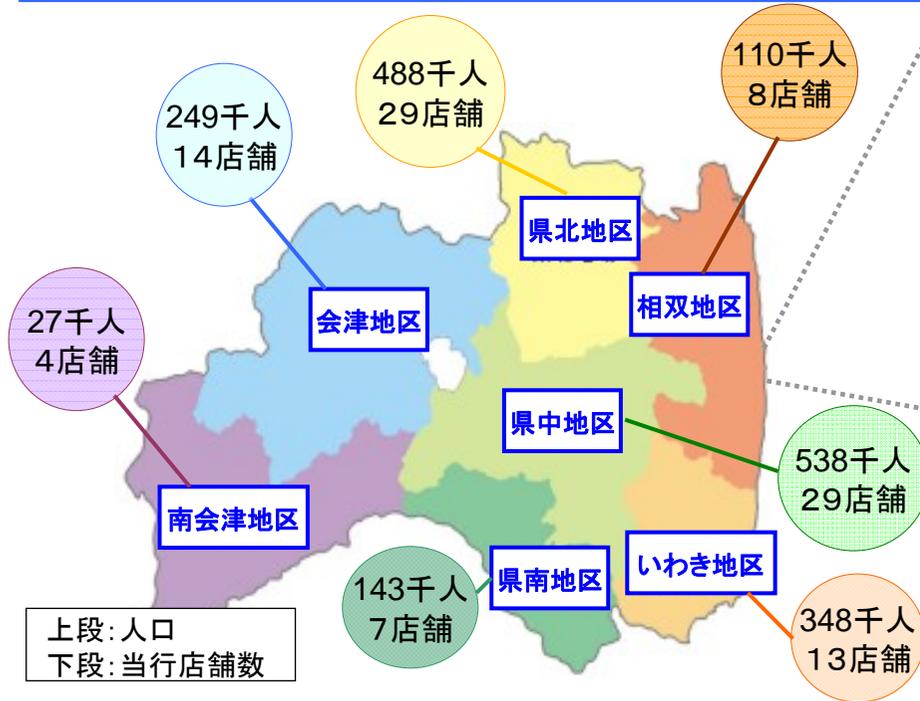
- 1. 中期経営計画の進捗状況20
- 2. ふくしまの“復興から成長”への貢献
 - (1) 地域の創生・発展への積極的な参画21
 - (2) お取引先の販路拡大支援22
 - (3) 多様な資金ニーズへの対応と
海外マーケットへの進出支援23
 - (4) 経営課題提案型営業・事業再生支援24
- 3. お客さまから選ばれる銀行づくり
 - (1) 個人のお客さまに向けた取組み25
 - (2) 資産運用のお手伝い26
 - (3) 個人のお客さま向けローンの取組み27
 - (4) 店舗・チャネル戦略28
 - (5) お客さま満足度（CS）向上への取組み29
- 4. 持続可能な企業体質の確立
 - (1) 地方銀行連携・フィンテック分野への取組み30
 - (2) 人材育成への取組み31
 - (3) 多様な働き方の推進と働きがいの向上32
 - (4) 活発なクラブ活動33
 - (5) 地域貢献活動（CSR）の取組み34

I. 福島県の現状～復興から成長へ～

1. 福島県の現状

福島県の概況

- 総面積13,782km²
- 人口190万人<平成28年4月1日現在>
- 県内59市町村(13市、31町、15村)



福島県の地理的優位性

- 県北地区…行政機能が集中 全国有数の果物果樹地帯
- 県中地区…商業・内陸工業地帯 交通の要衝
- 県南地区…歴史都市 関東圏と隣接
- 会津地区…史跡が多く存在する観光都市
- 南会津地区…自然の宝庫
- いわき地区…沿岸工業地域 豊富な観光資源
- 相双地区…震災復興のシンボル 新エネルギーの先進地

被災地区の現状

原子力災害に伴う避難指示区域等



平成28年6月12日
葛尾村
避難指示解除予定

平成28年3月17日
富岡町
特例宿泊実施

平成27年9月5日
楢葉町
避難指示解除

平成28年4月21日
楢葉支店再開

JR常磐線

- ・小高一原ノ町【再開見込(H28.春)】
- ・相馬一浜吉田【再開見込(H28.12)】
- ・浪江一小高【再開見込(H29.春)】
- ・竜田-富岡【再開見込(H29内)】
- ・富岡-浪江【再開見込(H31末)】

常磐自動車道

- ・H30年供用予定
ならはIC(仮)・大熊IC(仮)
- ・H31年供用予定
双葉IC(仮)

地価動向

公示地価 ⇒ 県内住宅地: 上昇率が2年連続全国最大

《前年比上昇率》

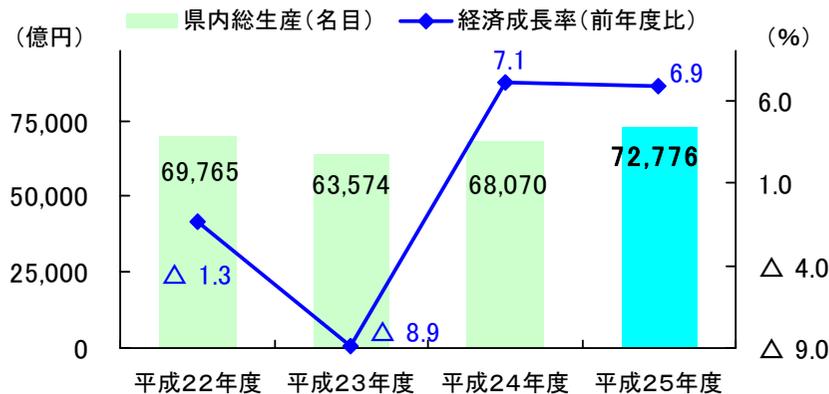
用途別	住宅地		商業地	
	26年度	27年度	26年度	27年度
福島市	2.7	3.4	0.7	1.2
郡山市	3.8	3.2	3.0	2.7
いわき市	7.3	6.7	3.3	2.8
会津若松市	1.5	1.2	0.1	0.1
県平均	2.9	2.9	0.8	0.9

2. 震災からの復興状況

	震災前（平成22年度）	震災直後（平成23年度）	足元の状況
人口	○人口 202万人 （平成23年3月1日） ○合計特殊出生率 1.52	○人口 197万人 （平成24年3月1日） ○合計特殊出生率 1.48	○人口 190万人 （平成28年4月1日） ○合計特殊出生率 1.58 （平成26年）
経済	○県内総生産(名目) 6兆9,765億円 ○有効求人倍率 0.42倍	○県内総生産(名目) 6兆3,574億円 ○有効求人倍率 0.59倍	○県内総生産(名目) 7兆2,776億円 （平成25年） ○有効求人倍率 1.46倍 （平成28年3月）
産業	○建設業 公共工事請負金額 1,847億円 ○製造業 製造品出荷額等 5兆9百億円 （東北1位） ○農業 水稲収穫量 44万t (全国4位) 農業産出額 2,330億円	○建設業 公共工事請負金額 2,491億円 ○製造業 製造品出荷額等 4兆32百億円 （東北1位） ○農業 水稲収穫量 35万t (全国7位) 農業産出額 1,851億円	○建設業 公共工事請負金額 1兆414億円 (平成26年) ○製造業 製造品出荷額等 5兆9百億円 （平成26年） （東北1位） ○農業 水稲収穫量 36万t 全国5位（平成27年） 農業産出額 1,837億円 （平成26年）

県内経済指標

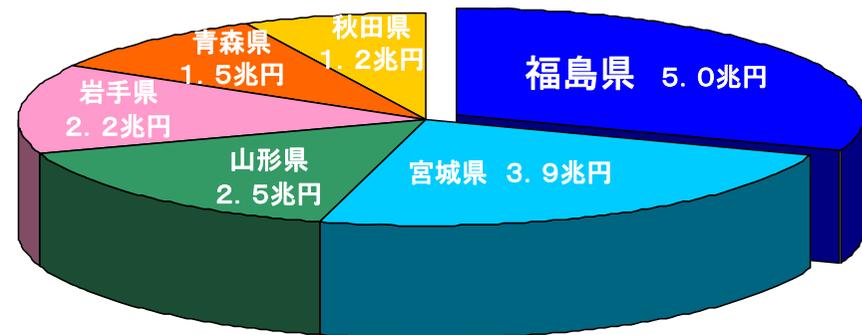
2年連続プラス成長・震災前を上回る水準



(出典:福島県「平成25年度福島県民経済計算(早期推計)」)

製造業出荷額

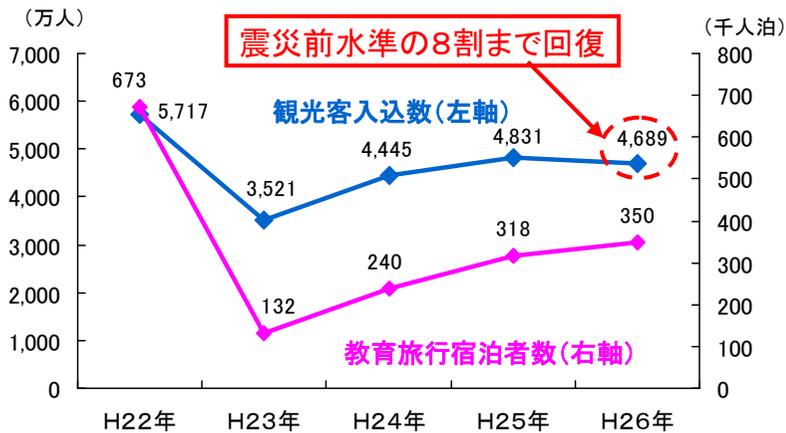
3年連続増加・震災前水準まで回復
東北6県で最大の出荷額



(出典:経済産業省「平成26年工業統計調査(速報)」)

3. 成長に向けた歩み【観光業など】

観光客入込数



【平成26年宿泊旅行統計調査・全国順位(1月～12月)】

順位	都道府県	述べ宿泊者
1	東京都	54百万人
2	北海道	30百万人
13	福島県	11百万人
14	宮城県	10百万人
15	新潟県	9百万人

(出典: 福島県「平成26年観光客入込状況」)

ふくしまの魅力「酒どころ ふくしま」

○全国新酒鑑評会
3年連続日本一



○金賞数
平成26酒造年度 **24銘柄**
平成25酒造年度 **17銘柄**
平成24酒造年度 **26銘柄**

出所: 日本酒造組合中央会

○清酒製造企業数 **全国4位**

清酒製造企業数		
順位	都道府県名	企業数
1	新潟	89
2	長野	81
3	兵庫	74
4	福島	67
5	福岡	58

出所: 国税庁「清酒製造業の概況(平成25年度)」

ふくしまアフターDC(デスティネーションキャンペーン)開催

ふくしまプレDC
(平成26年4月～6月)

ふくしまDC
(平成27年4月～6月)
経済効果
180億円
(とうほう地域総合研究所調査)

ふくしまアフターDC
(平成28年4月～6月)

福が満開、福のしま。

○様々なイベントで観光再生促進

フェルメール展

当行特別協賛

出展: 福島県HP

県内初「日本遺産」認定

○文化庁「日本遺産」に2件が認定(平成28年4月)

会津の三十三観音めぐり
～巡礼を通して観た往時の会津の文化～

史跡慧日寺跡

未来を拓いた「一本の水路」
—大久保利通“最期の夢”と開拓者の軌跡 郡山・猪苗代—

猪苗代湖

出展: 文化庁

3. 成長に向けた歩み【産業振興】

企業立地

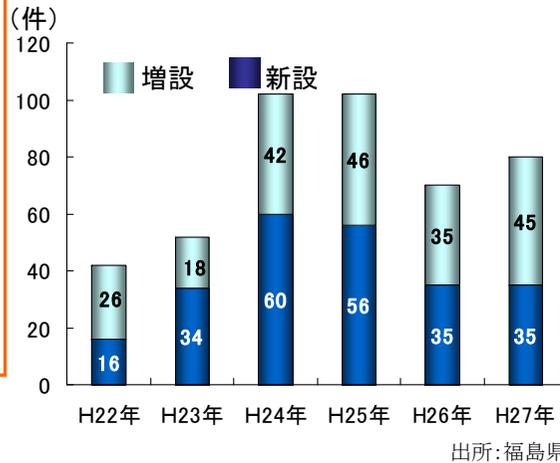
○ふくしま産業復興
企業立地補助金

対象先 **450社**
補助予定額 **2,400億円**

約**5,300人**
雇用創出効果
(平成27年12月現在)

○工場新增設の動き

【県内工場(敷地面積1,000㎡以上) 新・増設状況】



福島新エネ社会構想

○福島県が推進する福島県を新エネルギー社会の先進地とする構想

再生可能エネルギー

産総研福島再エネ研究所
福島浮体式洋上風力
重要送電線の増強支援

水素社会

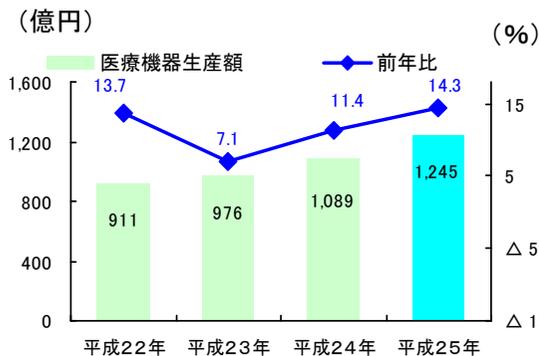
水素をつくる
ためる、運ぶ
使う

スマート事業

再生可能エネルギー
水素活用による復興
まちづくり

医療機器生産額

4年連続増加・全国**3位**の生産県



【医療関連機器生産額 全国順位】

平成22年	911億円(全国6位)
平成23年	976億円(全国5位)
平成24年	1,089億円(全国4位)
平成25年	1,245億円(全国3位)

(出典: 厚生労働省「薬事工業生産動態統計」)

再生可能エネルギー

○産業技術総合研究所
福島再生可能エネルギー研究所

○浮体式洋上風力発電設備
「ふくしま未来」

平成28年4月
「スマートシティ研究棟」運用開始



3. 成長に向けた歩み【産業の集積状況】

エネルギー関連・医療産業・アグリビジネス・ロボット開発等、研究開発・産業創出拠点の整備が進む

【会津地域】

- 会津大学 先端ICTラボ(リクティア)
- 会津若松スマートシティ
- 会津電力
- 会津若松ウインドファーム
- 木質バイオマス発電所

木質バイオマス発電所



ふくしま国際医療科学センター



国際廃炉研究開発拠点



イノベーション・コースト構想

- ロボット開発・実証拠点
- 国際廃炉研究開発拠点

【県北地域】

- ふくしま国際医療科学センター(福島県立医科大学)

【相双地域】

- 相馬港LNG基地等整備
- 浜地域農業再生研究センター
- 水産種苗研究・生産施設
- 南相馬ソーラーアグリパーク
- 大熊町ふるさと再興メガソーラー
- いたてまでいな太陽光発電事業
- 懸の森太陽光発電所

【県中地域】

- 産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所
- ふくしま医療機器開発支援センター
- 三春町環境創造センター
- 郡山市布引高原風力発電所
- 福島空港メガソーラー
- 風の谷Ten-ei天栄風力発電所



【県南地域】

- 西郷村太陽光発電事業
- ユーラス矢吹中島ソーラーパーク
- 白河ウッドパワー

【いわき地域】

- 石炭ガス化複合発電(IGCC)
- 小名浜港湾機能強化事業
- 浮体式洋上風力発電設備「ふくしま未来」「ふくしま新風」

ユーラス矢吹中島ソーラーパーク



Ⅱ. 平成27年度決算の概要

1. 平成27年度決算の概要

当期純利益は過去最高益の100億円に到達

(単位:億円)	27年度 決算	26年度 決算	前年度比
経常収益(売上)	691	644	+47
コア業務粗利益(粗利益)	470	490	△20
資金利益	388	402	△14
うち貸出金利息	296	303	△7
うち有価証券利息・配当金	111	115	△4
うち投信売却益	2	9	△7
うち預金等利息(-)	17	17	0
役務取引等利益(手数料収支)	90	85	+5
経費	380	378	+2
人件費	189	186	+3
物件費	169	173	△4
一般物件費	128	117	+11
減価償却費	21	26	△5
預金保険料	19	28	△9
税金	21	19	+2
コア業務純益(営業利益)	90	111	△21
有価証券関係損益	50	37	+13
国債等債券損益	36	14	+22
株式等関係・金銭の信託運用損益	14	22	△8
信用コスト(与信関係費用)(-)	△2	△9	+7
個別貸倒引当金繰入額等(-)	0	1	+1
貸倒引当金戻入益(+)	3	10	△7
経常利益	159	168	△9
税引前当期純利益	155	166	△11
税金費用	54	68	△14
当期純利益	100	98	+2

平成27年度決算のポイント

コア業務純益(営業利益)

コア業務純益は資金利益の減少を主因として前年度比減少

[資金利益] 市場金利の低下等により利回り低下し、**前年度比減少**

[役務取引等利益] 生命保険や投資信託などの預かり資産収益や法人関連収益拡大が寄与し、**前年度比増加**

[経費] 人件費は人員増などにより前年度比増加

物件費は、店舗やIT関連などの戦略的投資により一般物件費が増加するも、預金保険料減少により前年度比減少

経常利益・当期純利益

[経常利益] コア業務純益(営業利益)が減少するも、有価証券関係損益の拡大が寄与し、前年度比減益幅は縮小

[当期純利益] 法人税実効税率の引下げによる税金費用の減少も寄与し、**前年度比増益・過去最高益更新**

業績予想との対比

(単位:億円)

平成27年度		通期		
		業績予想	実績	達成率
単体	経常利益	150	159	106%
	当期純利益	95	100	105%
連結	経常利益	155	171	110%
	当期純利益	170	182	107%

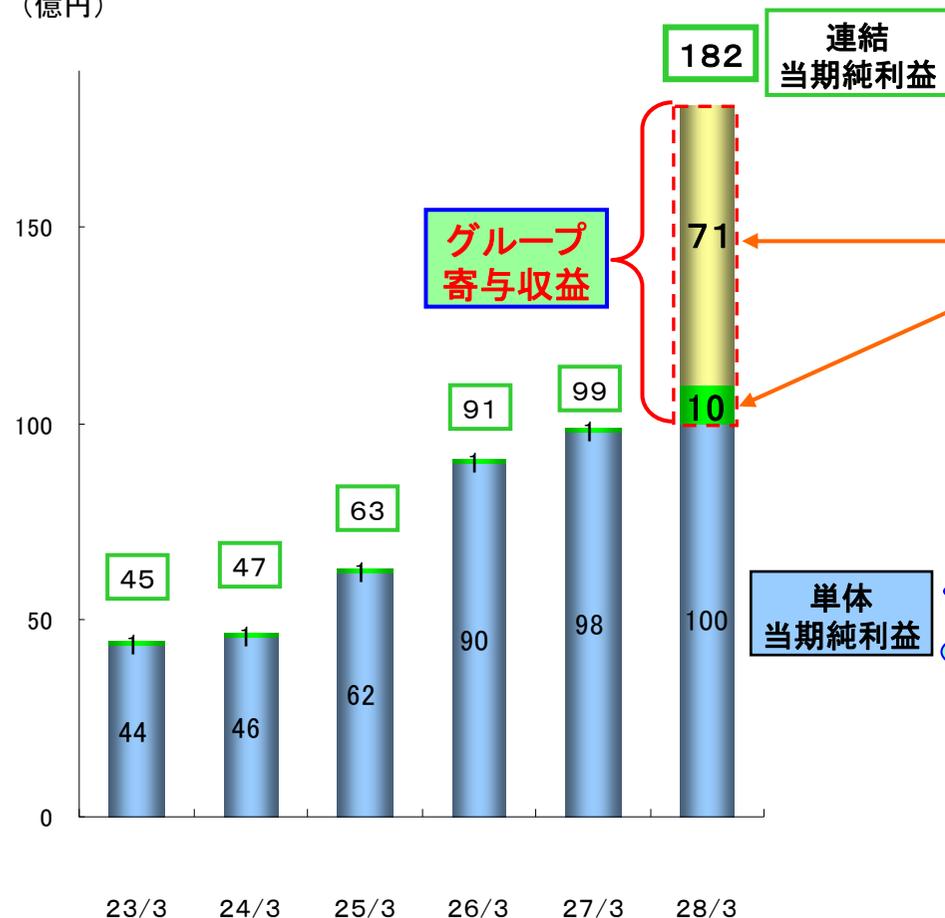
2. グループ経営の強化

○平成27年4月に関連5社の株式を追加取得し、連結子会社化（実質100%子会社化）

（東邦リース株式会社、株式会社東邦カード、株式会社東邦クレジットサービス、東邦信用保証株式会社、東邦情報システム株式会社）

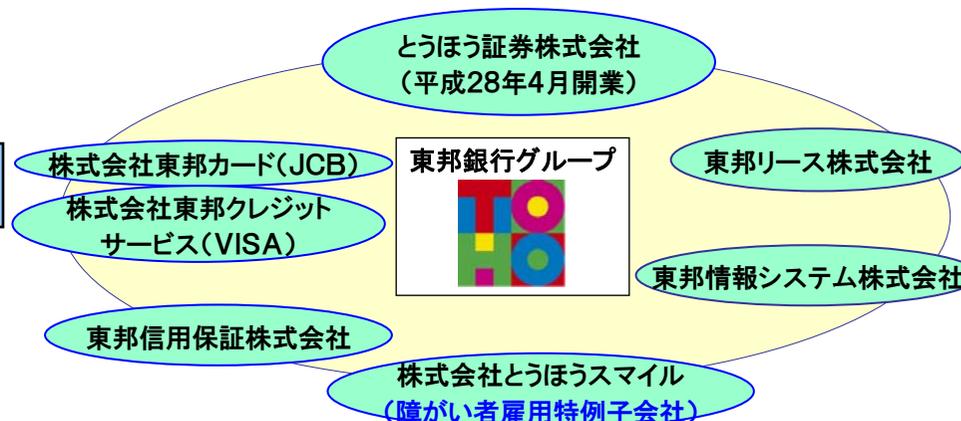
単体・連結当期純利益の推移

（億円）



大胆なグループ資本政策の見直し
全持分をグループ内保有へ
グループ会社実質100%子会社化

平成27年度当期純利益	
当期純利益	100億円
実質100%子会社化に伴う特別利益等	71億円
連結子会社当期純利益等	10億円
連結当期純利益	182億円



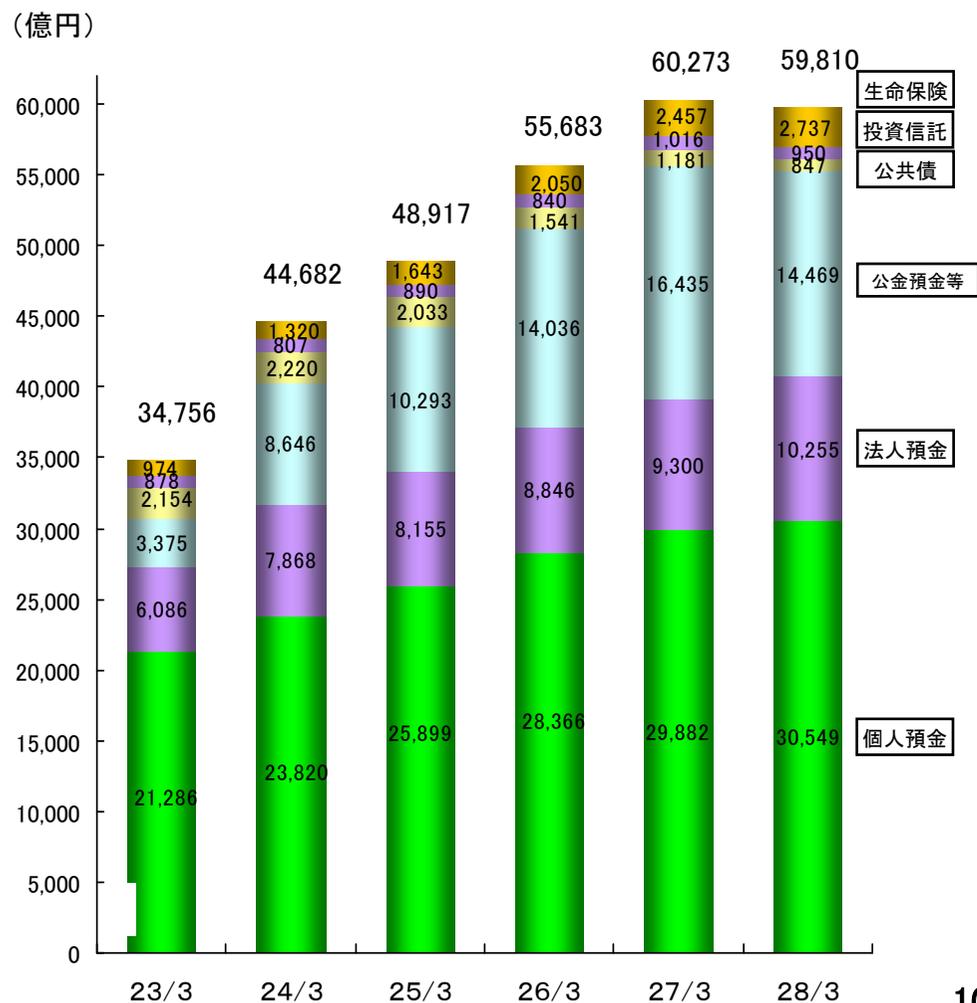
公益財団法人東邦銀行教育・文化財団(文化スポーツ助成事業、奨学金事業)

一般財団法人とうほう地域総合研究所(産業・経済調査事業)

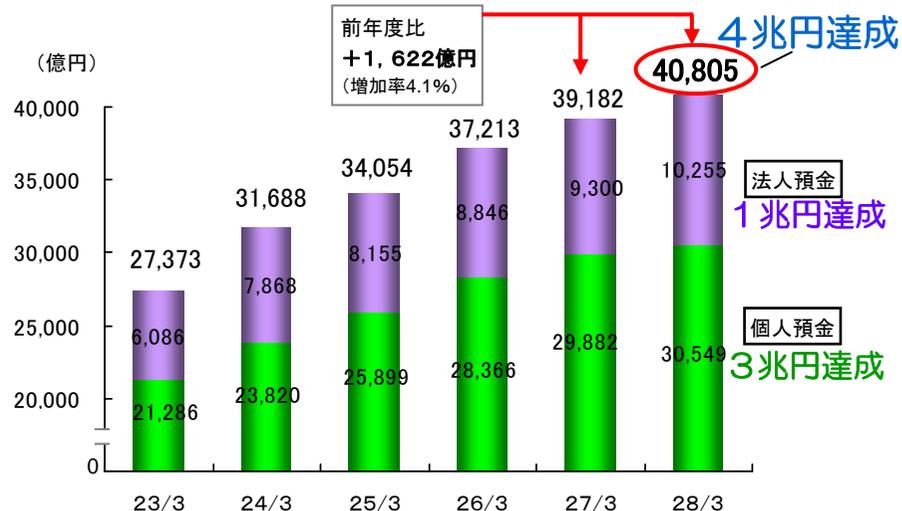
3. 業容関連 (1) 総預かり資産の状況

公金預金が減少するも、個人預金・法人預金、生命保険の残高増加により、前年度比横ばい

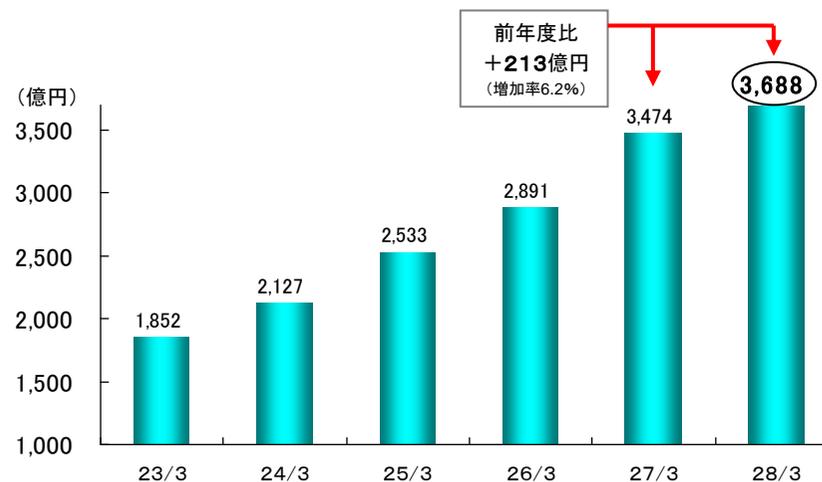
総預かり資産残高【預金＋預かり資産】の推移



個人預金＋法人預金の推移



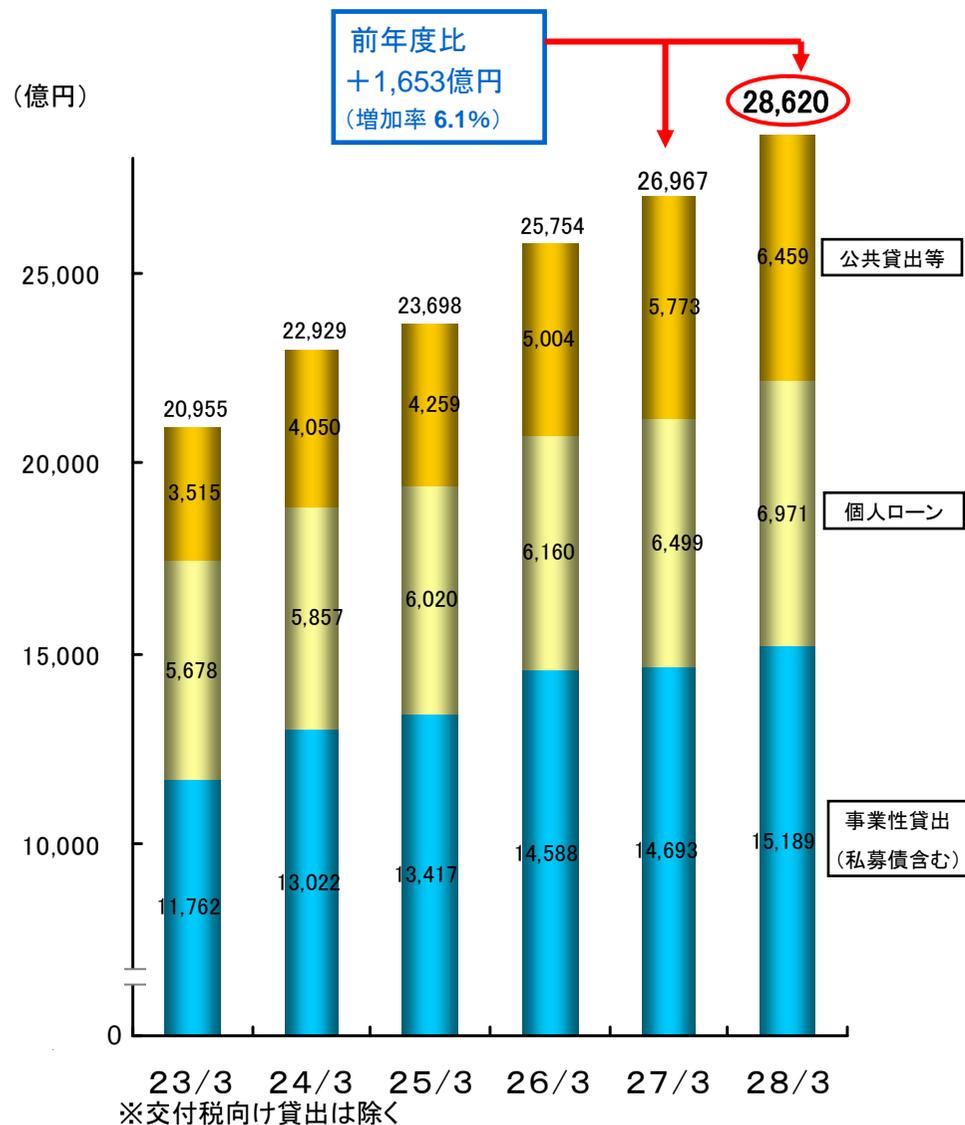
投資信託＋生命保険の残高推移



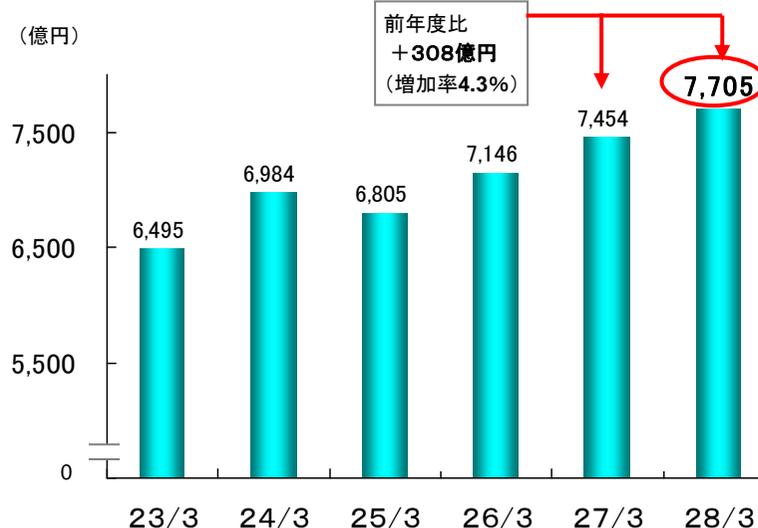
3. 業容関連 (2) 貸出金の状況

事業性貸出・個人ローン・公共貸出等とも増加傾向が継続

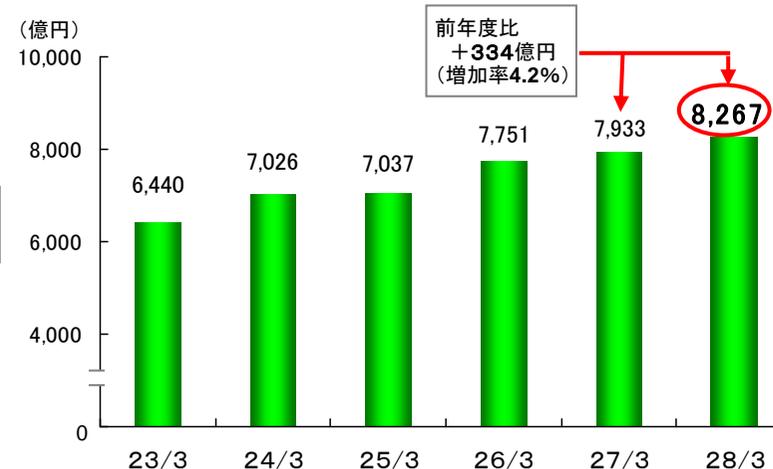
貸出金残高の推移



福島県内店舗事業性貸出残高の推移 (私募債含む)



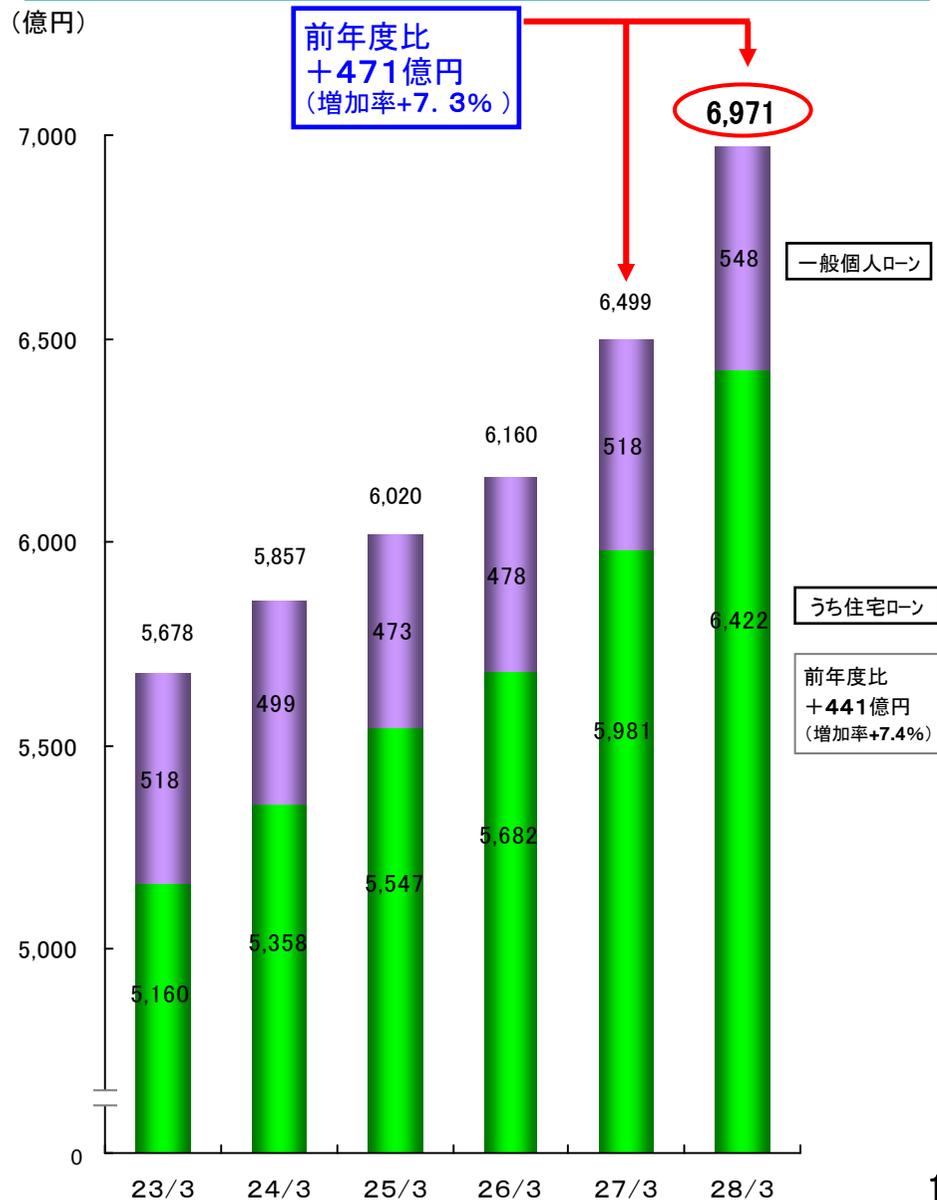
中小企業向け貸出残高の推移



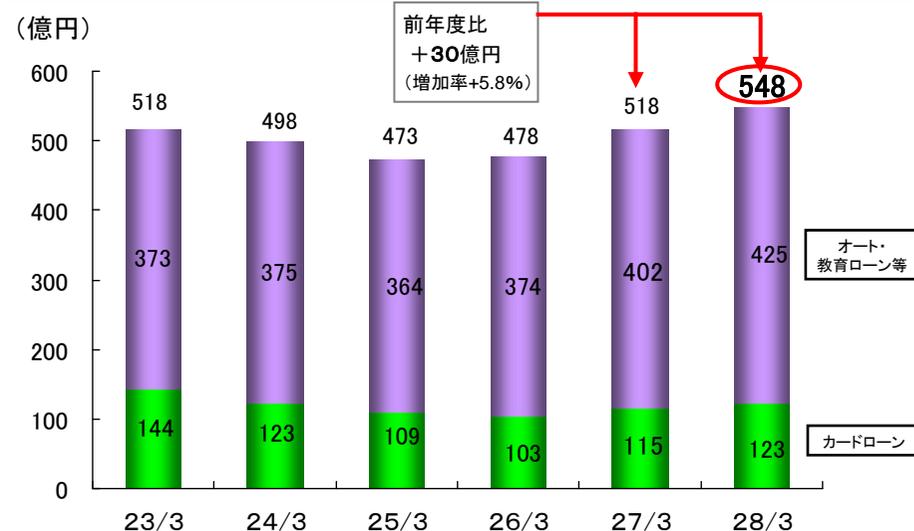
3. 業容関連 (3) 個人ローンの状況

住宅ローン・一般個人ローン・アパートローンともに着実に増加

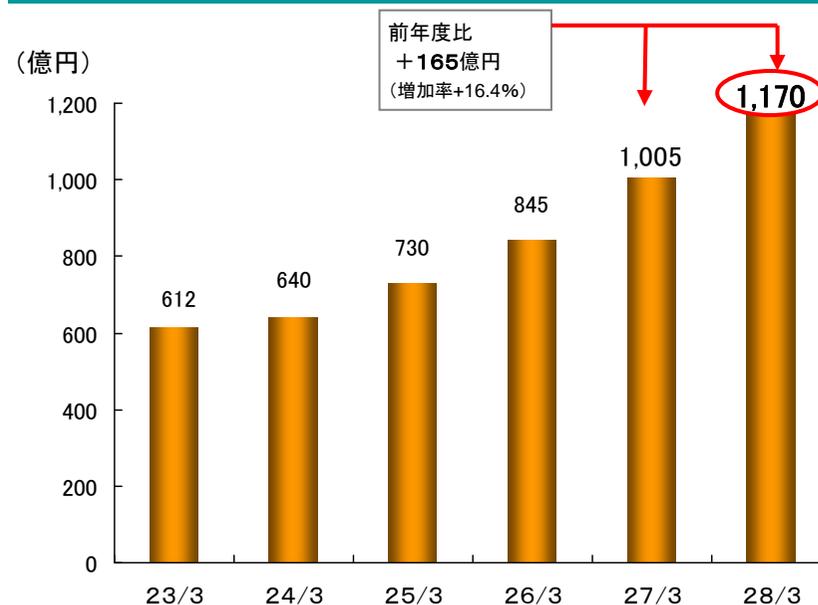
個人ローン残高の推移



一般個人ローン残高の推移



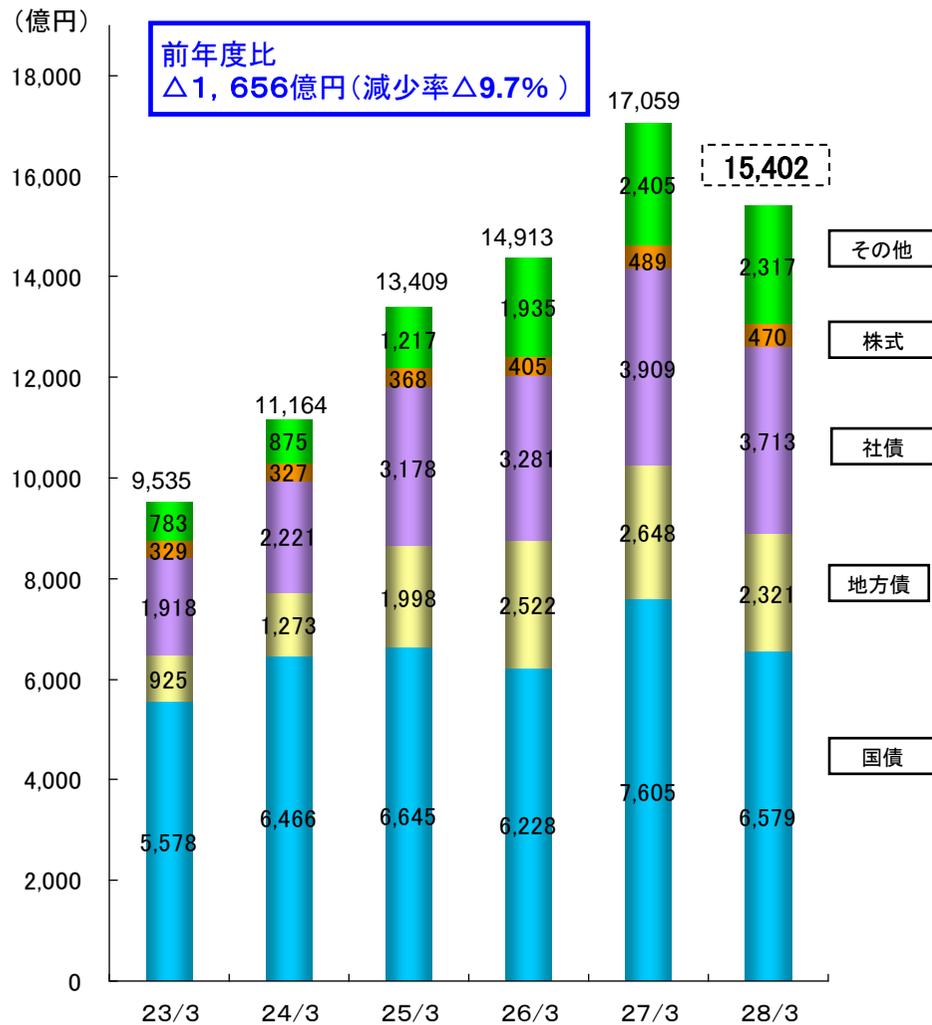
アパートローン残高の推移



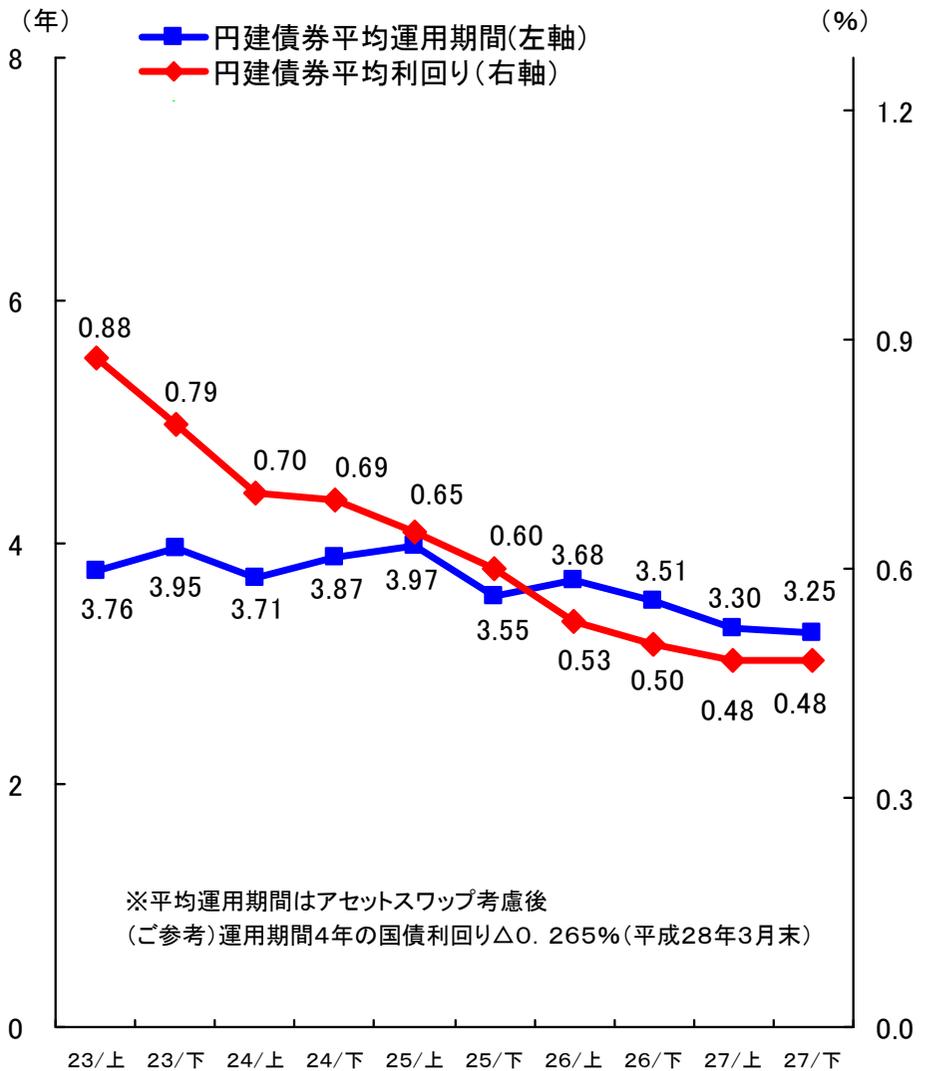
3. 業容関連 (4) 有価証券の状況

投資環境や市場動向に対応し効率的な資金運用に努めた結果、有価証券残高は前年度比減少

有価証券の構成推移



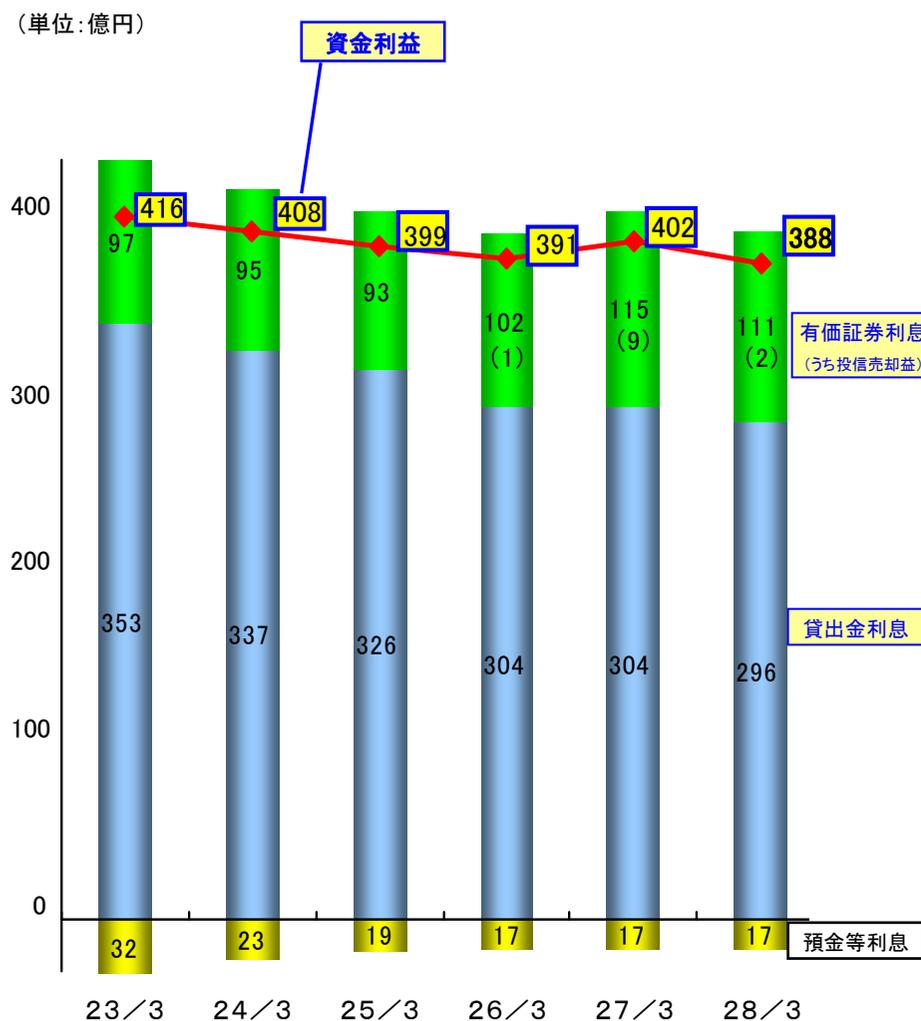
円建債券平均運用期間・利回りの状況



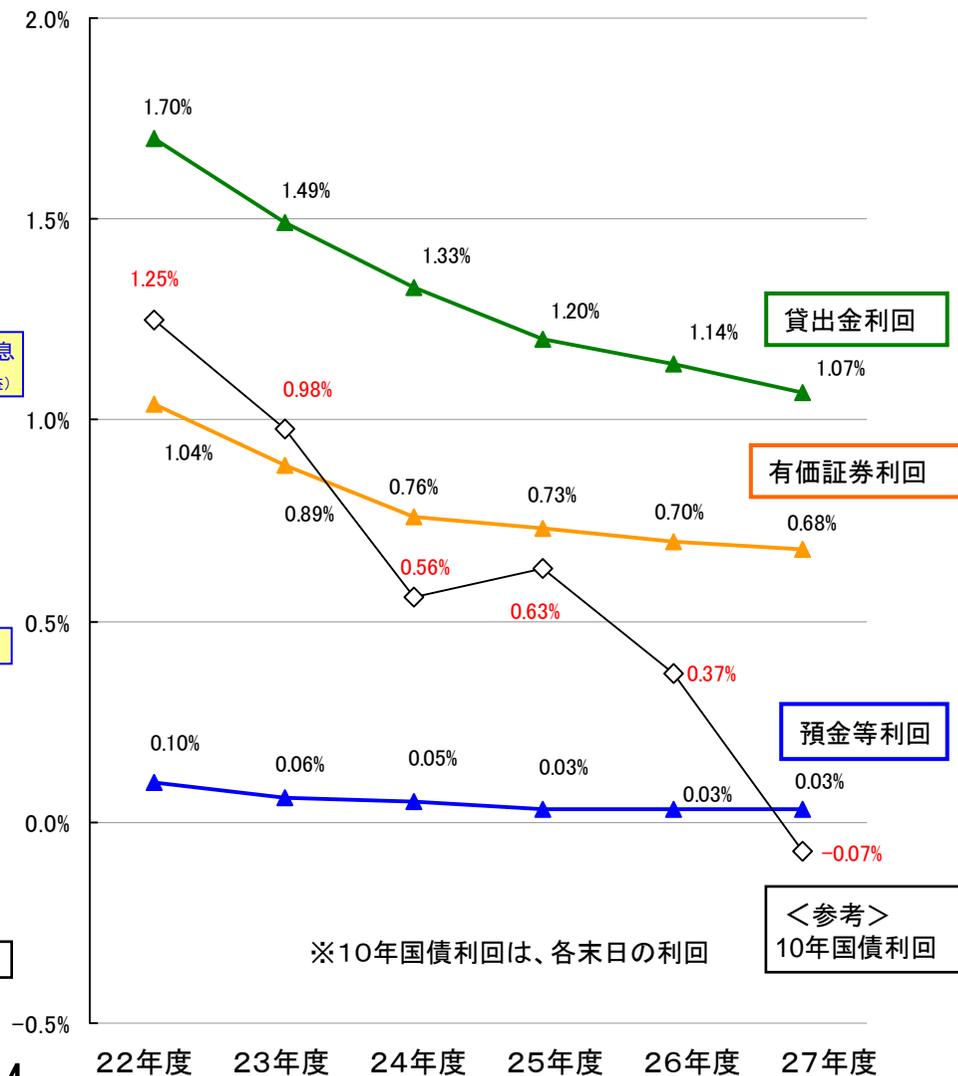
4. 収益関連 (1) 資金利益の状況

貸出金残高増加や有価証券の効率的な運用に努めるも、運用利回りの低下等を背景に前年度比14億円減少

資金利益内訳



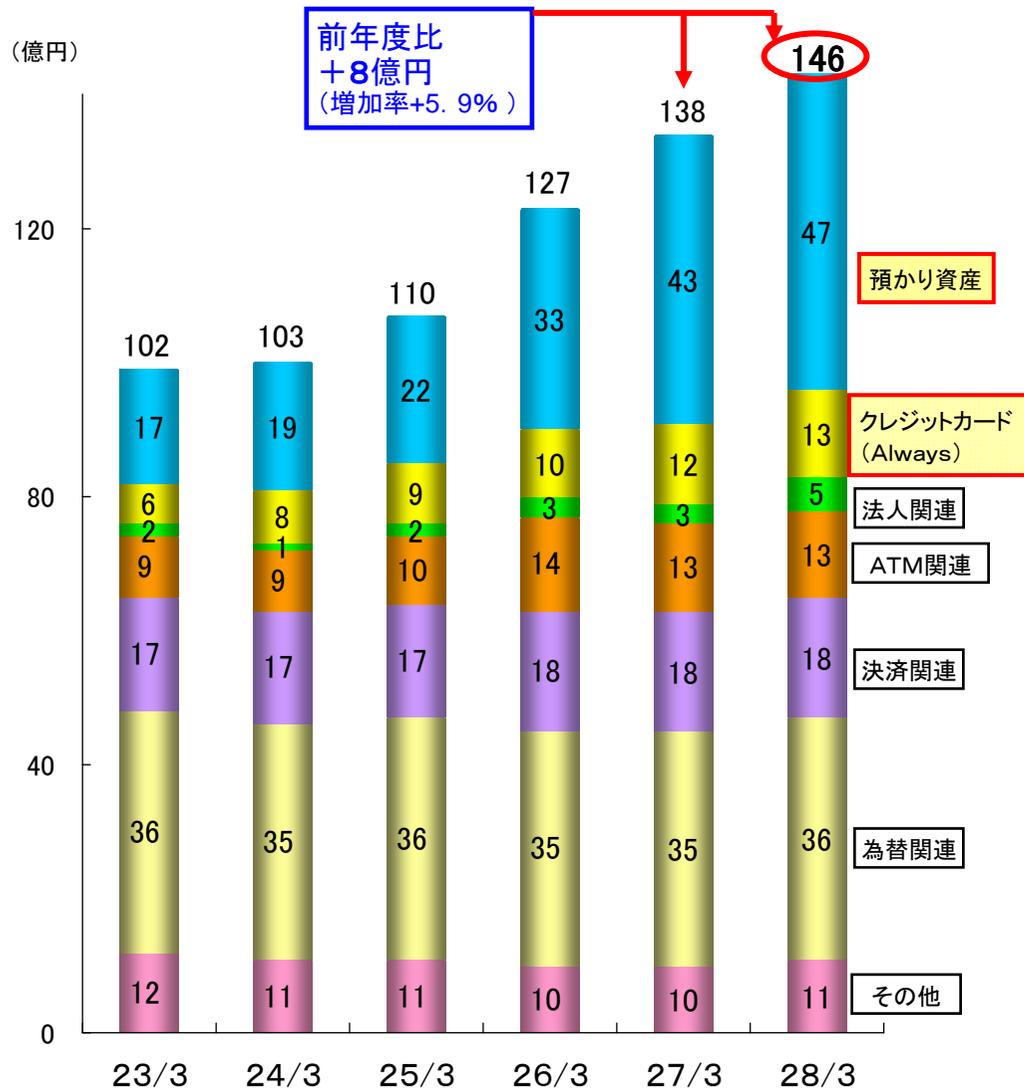
利回りの推移



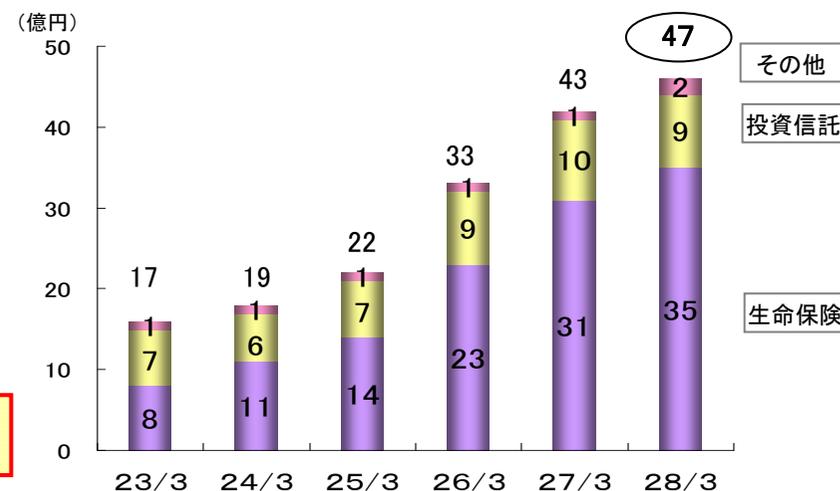
4. 収益関連 (2) 役務取引等収益 (手数料収入) の状況

預かり資産、法人関連手数料、クレジットカード手数料等の増加により、前年度比**8億円増収**

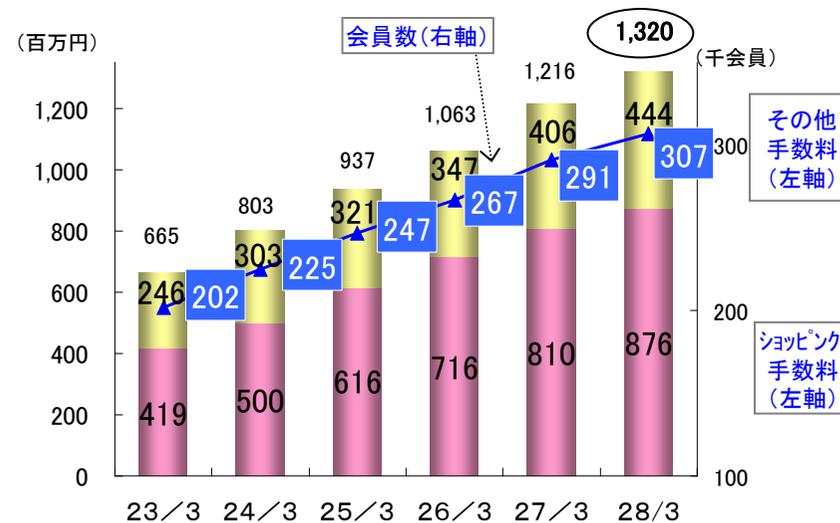
役務取引等収益 (収入) の推移



預かり資産役務収益 (収入) の推移



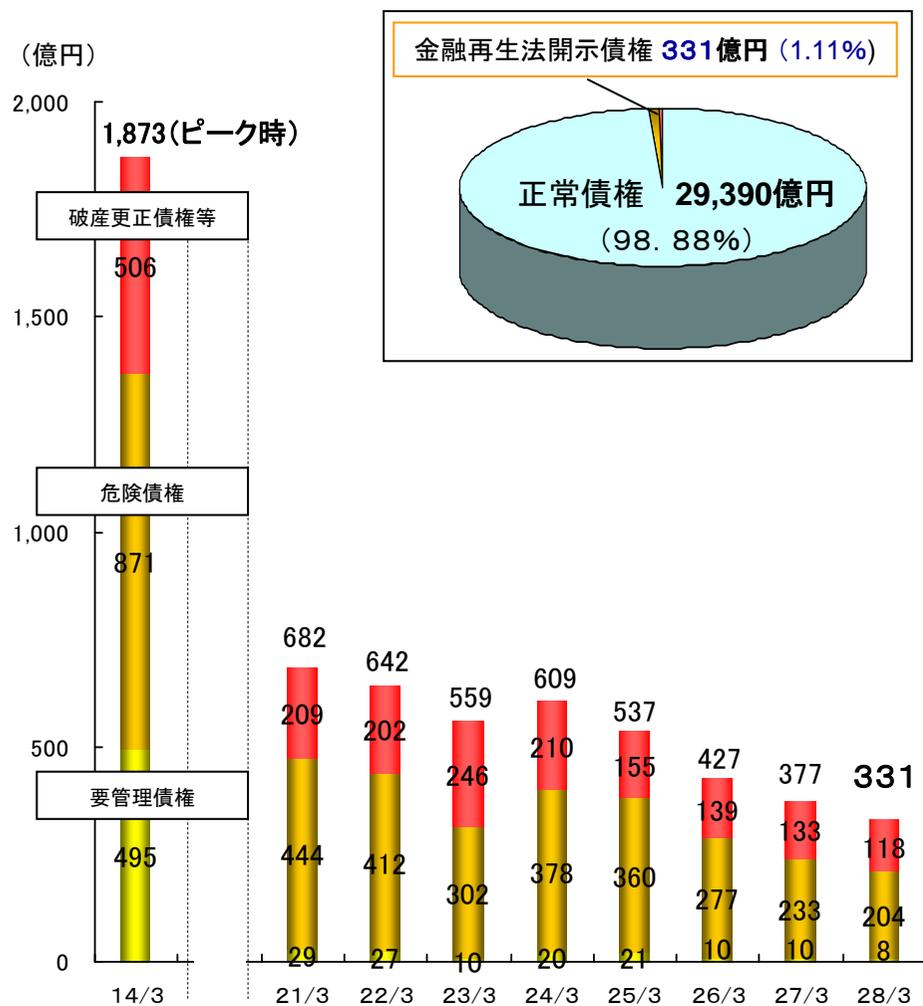
クレジットカード (Alwaysカード) 関連収入の推移



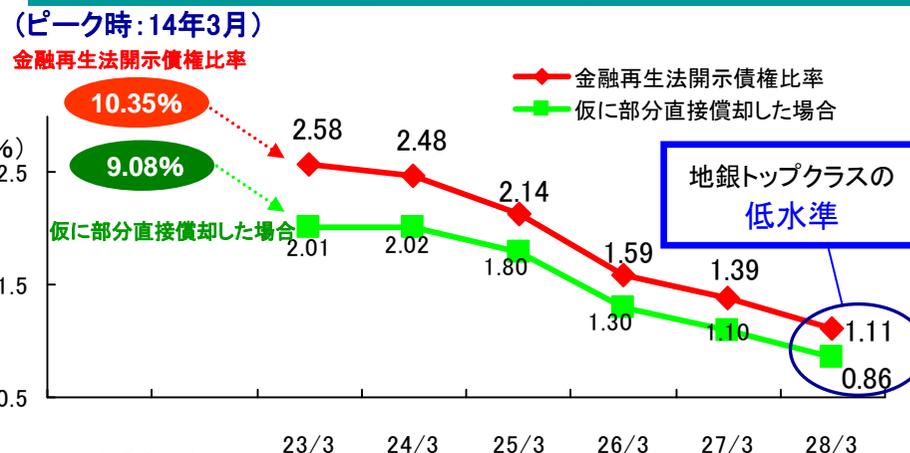
5. 経営体質 (1) 貸出資産の質

金融再生法開示債権比率は、1.11%まで低下(部分直接償却を実施した場合は0.86%) いずれも地銀トップクラスの低水準

金融再生法開示債権の推移



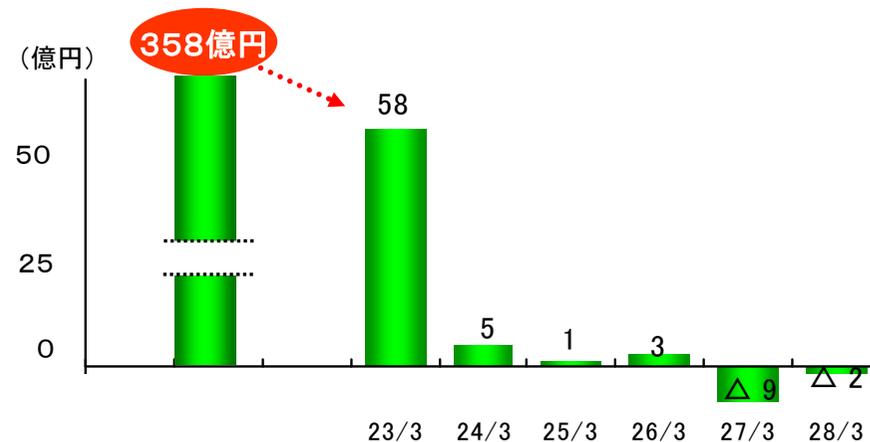
金融再生法開示債権比率の推移



※部分直接償却とは
「破産更生債権等」について、回収困難と認められる額に対し個別貸倒引当金の計上ではなく、貸倒償却として債権額から直接減額すること。

信用コストの推移

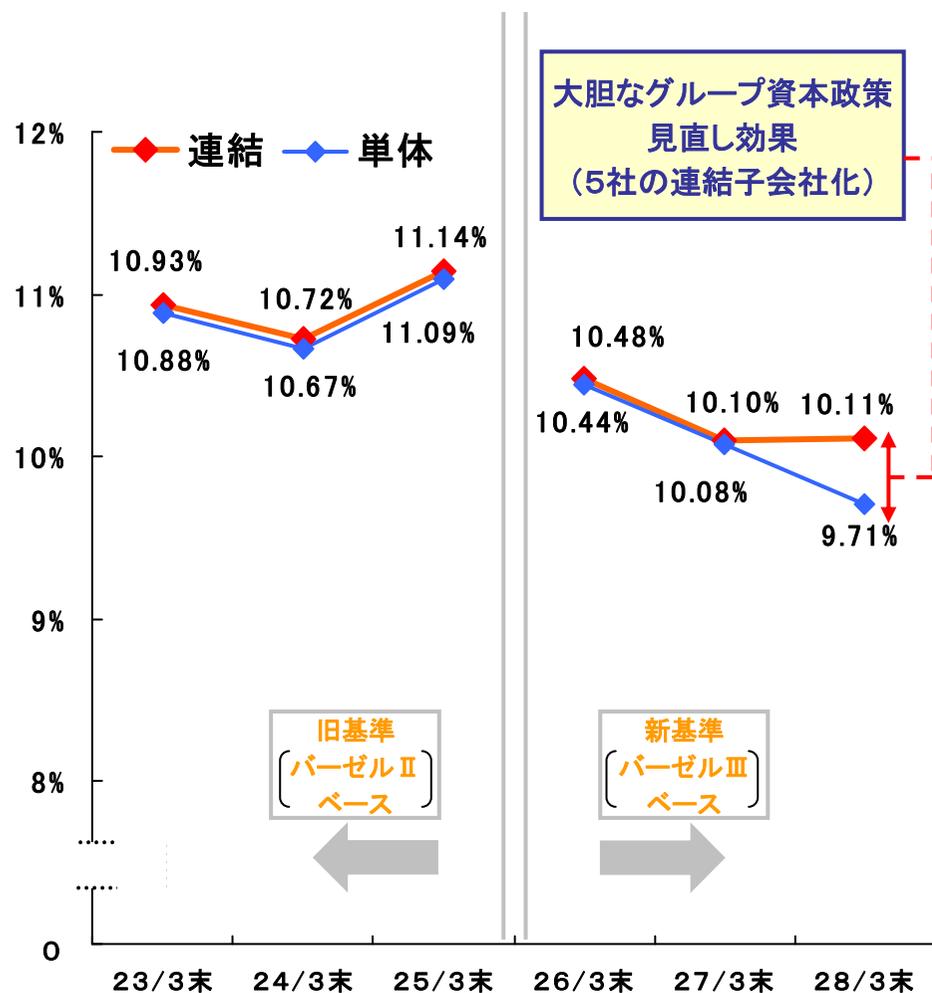
(ピーク時: 13年3月)



5. 経営体質 (2) 経営の健全性

自己資本比率は、規制の水準(国内基準行は4%以上)を十分上回る

自己資本比率の推移



自己資本および総資産等の推移

連結

(億円)

	27/3末	28/3末	増減
自己資本 (A)	1,868	1,980	+112
総資産等 (B)	18,487	19,587	+1,099
自己資本比率(A/B)	10.10%	10.11%	+0.01%

単体

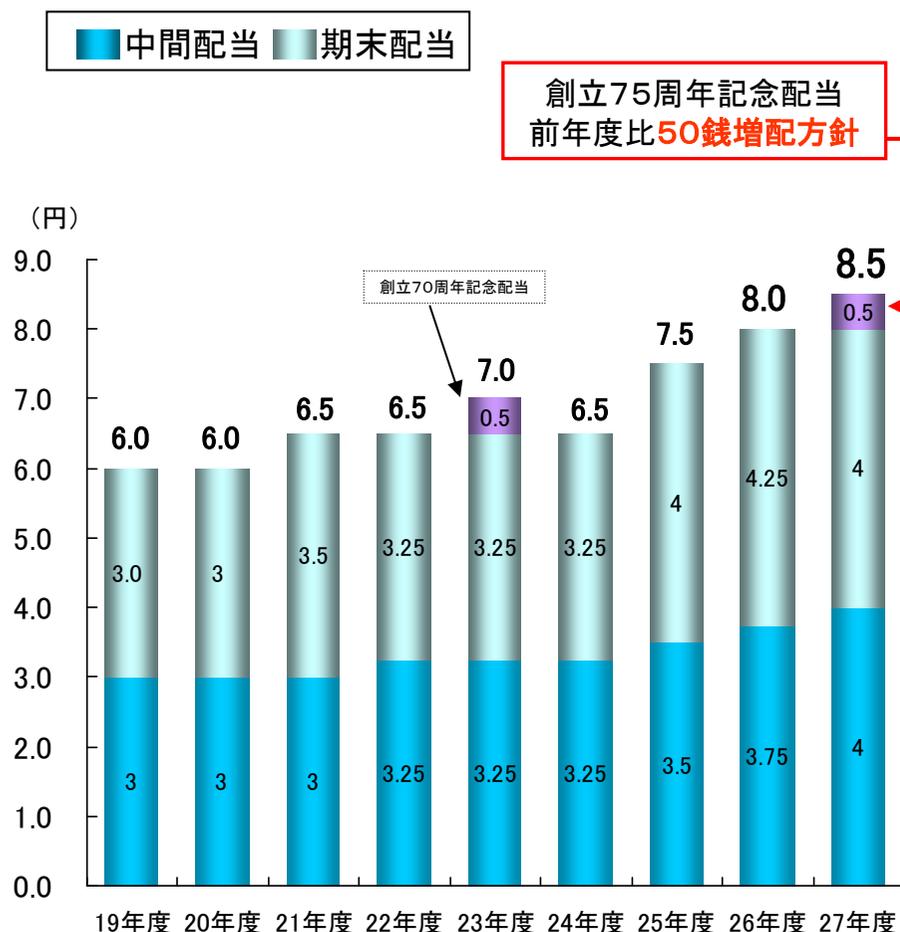
(億円)

	27/3末	28/3末	増減
自己資本 (A)	1,862	1,905	+43
総資産等 (B)	18,466	19,616	+1,150
自己資本比率(A/B)	10.08%	9.71%	△0.37%

6. 株主の皆さまへ

内部留保の充実による健全性の向上を図りながら、業績の成果に応じ弾力的に株主の皆さまへ利益を還元
平成27年度は**創立75周年記念配当50銭増配**し、1株あたり年間8.5円配当

1株あたり配当金



株主優待制度

長期・大口保有株主さまへのご優待内容を拡充

		保有期間		
		1年未満	1年以上	5年以上
保有株数	10,000株以上	3,000円 ギフトカード	8,000円 相当	10,000円 相当
	5,000株以上 10,000株未満	2,000円 ギフトカード	5,000円 相当	8,000円 相当
	1,000株以上 5,000株未満	1,000円 ギフトカード	3,000円 相当	5,000円 相当

以下の2つのカタログから1品を選択

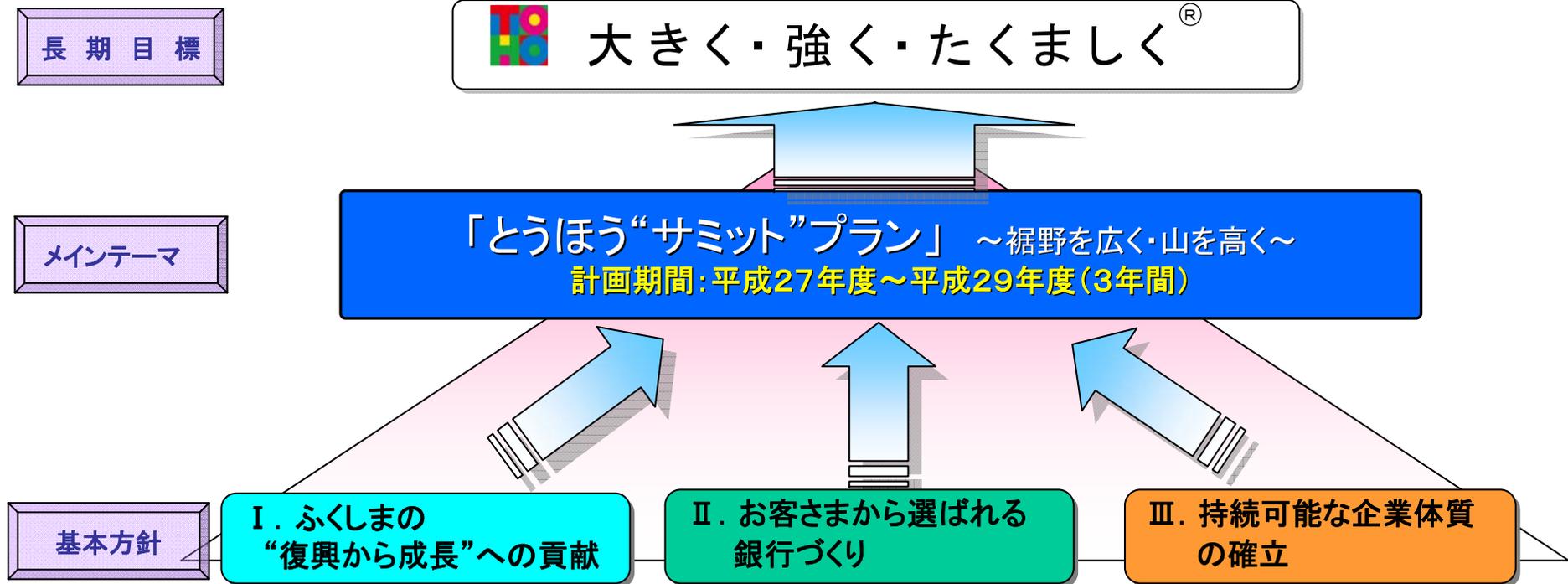
- [カタログⅠ]『ふくしまからの贈り物』
①「福島県宿泊施設ご優待券」、②「福島県の特産品」から選択
- [カタログⅡ]『TSUBASAプロジェクト連携企画特産品コース』
千葉銀行(千葉)、伊予銀行(愛媛)、中国銀行(岡山)、
第四銀行(新潟)の地場特産品から選択

保有株式数1,000株以上のすべての株主さま

- [定期預金金利優遇] (預入金額 10万円以上300万円以内)
1年もの定期預金 **金利上乘せ**
- [投資信託手数料優遇] (購入金額120万円まで)
通常申込手数料無料

Ⅲ. 平成27年度の主な取組み

1. 中期経営計画の進捗状況



対外公表計数の進捗状況

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成29年度 (中計最終年度目標)	平成33年度 (長期目標)
当期純利益	98億円	100億円	125億円	150億円
自己資本利益率(ROE)	5.52%	5.28%	6%台	
自己資本比率	10.08%	9.71%	10%台	
中核的自己資本比率(※)	8.78%	8.62%	9%台	

(※)中核的自己資本は、自己資本から劣後調達を控除したもの

2. ふくしまの“復興から成長”への貢献 (1) 地域の創生・発展への積極的な参画

地方創生への取組み

県内自治体の「地方版総合戦略」策定・推進をサポート

地方創生プロジェクト

県内自治体さまのニーズに応じたオリジナル提案書を作成

とうほう・地方創生 結婚応援プロジェクト

マリッジパートナーズと連携し、
婚活イベントを開催

第1号ファンド「とうほう・次世代創業支援ファンド」

○総投資額10億円 投資終了

福島県内(9先)	宮城県内(4先)
アパレル、アプリ開発 太陽光発電、再エネコンサル 植物工場、医療品開発 アニメ制作、ロボット開発 Webサービス品質検証	クリーニング業、植物工場 IT・ものづくり企画 衣料品関連

第2号ファンド「とうほう・ふるさと総活躍応援ファンド」

創業期・成長分野などに取組まれているお客さま

↑ 株式引受・社債引受

「とうほう・ふるさと総活躍応援ファンド」

↑ 出資

当行: 9億9千万円

出資総額10億円

↑ 出資・運営

東邦リース
山田ビジネスコンサルティング: 1千万円

<地方創生>一市一町一村わがまちの逸品

福島県内各地の逸品【全54商品の
通販カタログを企画
平成28年2月より販売開始



「次世代地域航空ネットワーク検討協議会」への参画

地方銀行
「初」

○活動目的

国内初のジェット旅客機MRJ(三菱
リージョナルジェット)によるアジアを含む
地域間航空ネットワークを拡充



国内外から地元へ観光客を呼び込み



ふるさと応援「在京福島県経済人の集い」の開催

総勢250名参加

【主な参加者】

福島県ゆかりの経済人
県知事および各市町村長
商工会議所会頭など



平成28年2月2日 於: 帝国ホテル

次世代経営者の支援

○復興応援「とうほう次世代経営者倶楽部」

会員数

791名
(うち女性29名)

○「とうほう次世代経営塾」
(1期～3期)

塾生

累計82名
(うち女性11名)



平成28年1月21日
於: 郡山ビューホテルアネックス

2. ふくしまの“復興から成長”への貢献 (2) お取引先の販路拡大支援

「ふるさと応援！ふくしま酒まつり」



「ふくしまの酒」をPR

福島県酒造協同
組合と連携し開催

(平成28年4月)

於：東京丸の内「丸ビル」

復興支援通販事業の企画・実施

県内産品の販売支援を目的とした
通販事業の企画・協賛

▶ **累計販売個数：150千個**
累計販売金額：520百万円

【平成28年3月末までの累計】



食の商談会 ふくしまフードフェア 海外商談会の開催



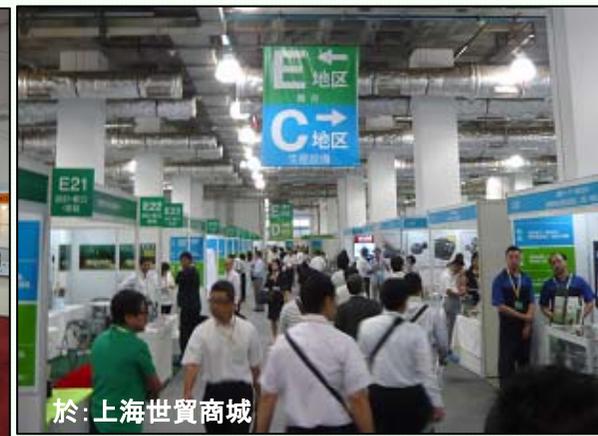
於：ビッグパレットふくしま

県内最大規模の食の展示・個別商談会
参加企業 約180社
(平成27年11月)



於：バンコク国際貿易展示場

Mfair/バンコク2015ものづくり商談会
お取引先 6社出展
(平成27年6月)



於：上海世貿商城

FBC上海2015ものづくり商談会
お取引先 6社出展
(平成27年9月)

2. ふくしまの“復興から成長”への貢献

(3) 多様な資金ニーズへの対応と海外マーケットへの進出支援

復興資金の提供

○震災関連制度資金の実行額累計
5,600件 / 1,250億円

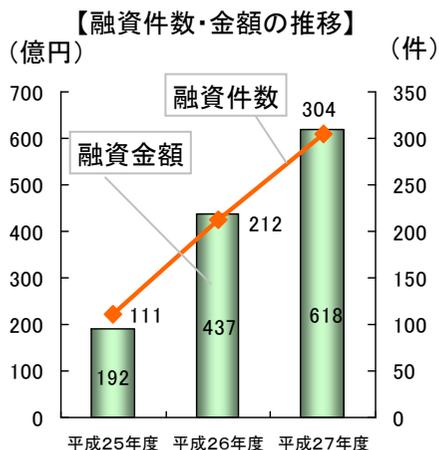
(平成28年3月末)

クラウドファンディングの活用による取引先支援

ファンド名	商品
福島浪江町大堀相馬焼復興ファンド	大堀相馬焼の茶碗
福島本宮コシヒカリファンド2015	コシヒカリ
あいづ農園特別栽培米コシヒカリファンド	コシヒカリ
花粉対策茶ファンド	花粉対策茶
雪中にんじんジュースファンド	にんじんジュース
ガイナックスアニメファンド	ミュージアムパス等
福島浪江町なみえ焼きそばファンド	焼きそば
自然郷再生ファンド	日本酒・塩麴

※クラウドファンディング
資金を必要とする事業者がWEB上で個人から小口の出資を募る仕組み。

再生可能エネルギー分野への積極的な関与



(平成28年3月末現在)

種類	累計 実行件数	累計 実行金額
太陽光 風力 水力 バイオマス	304件	618億円

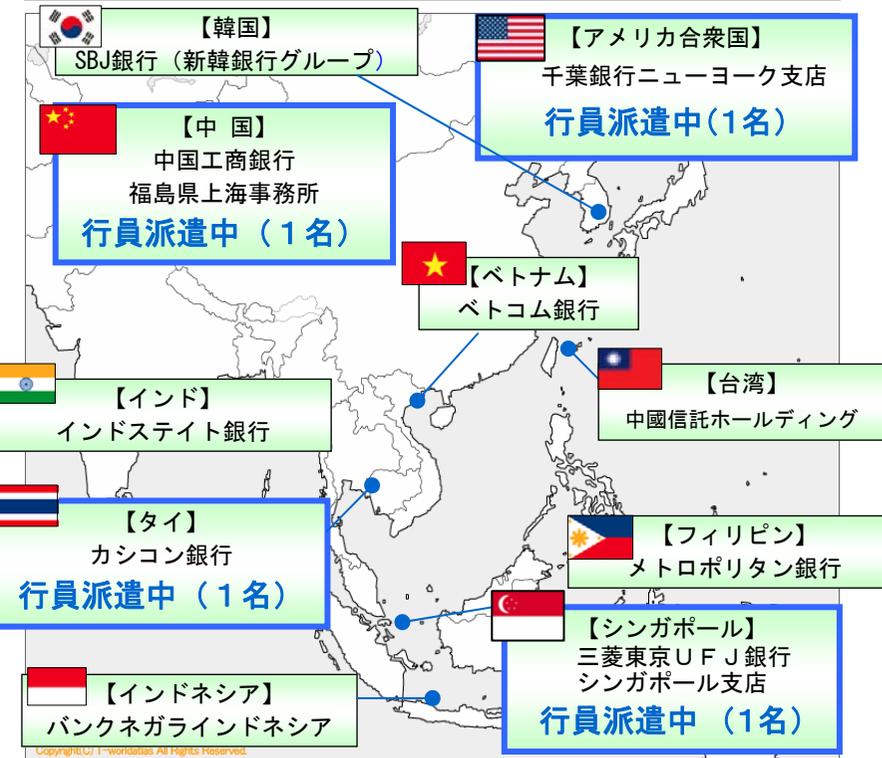
株式会社GLコネクトとの資本提携実施

(伊藤忠商事100%子会社)

- 販路拡大、事業拡大支援に対するコンサルティング機能の提供
- 商流にわたるファイナンス機能等の提供

海外銀行や各種専門家と積極的に業務提携を実施

- 【会計・税務・コンサル】
有限責任監査法人トーマツ
デロイト・トーマツファイナンシャル・アドバイザリー
- 【国際物流】
日本通運
- 【貿易保険】
日本貿易保険 (NEXI)
- 【ハラル認証取得支援】
ハラル・ジャパン協会
- 【海外情報提供・コンサル】
大和証券
- 【海外リスクコンサル】
東京海上日動火災保険
三井住友海上火災保険
損害保険ジャパン
- 【海外セキュリティ対策】
ALSOK福島総合警備保障
セコム



2. ふくしまの“復興から成長”への貢献 (4) 経営課題提案型営業・事業再生支援

円滑な事業承継支援の取組み

- 営業店と本部が連携し課題解決に向けたサポートを実施
- 外部専門機関と連携し、個社毎のサポート体制を構築

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
対応先数	264	280	323	357

M & A 業務の取組み

○M & A 関連業務の実績

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
相談対応件数	59	57	70	62

- 日本M & Aセンター主催「バンクオブザイヤー表彰」(地銀62行加盟)

平成26年 “バンクオブザイヤー”(最高賞)を受賞

平成27年 “ディールオブザイヤー”と“特別賞”をダブル受賞
(成約案件優秀賞)



【M&A】
企業や事業の譲渡・
合併・買収等の総称

「自社株承継信託」の取扱い開始

**東北地銀
「初」**

- 後継者への事業の円滑な承継を支援する目的で
りそな銀行の「自社株承継信託」取扱いを開始

復興支援・事業再生支援の取組み

復興支援ファンド

出資合計実績:14件/37億円

- ふくしま応援ファンド ファンド総額50億円
- 東日本大震災中小企業復興支援ファンド ファンド総額92億円
- ふくしま復興・成長支援ファンド ファンド総額50億円

債権買取支援

実績:58件/43億円

	支援決定 買取決定済
福島産業復興機構	27件
東日本大震災事業者再生支援機構	31件

事業再生支援の実績

(先、人、億円)

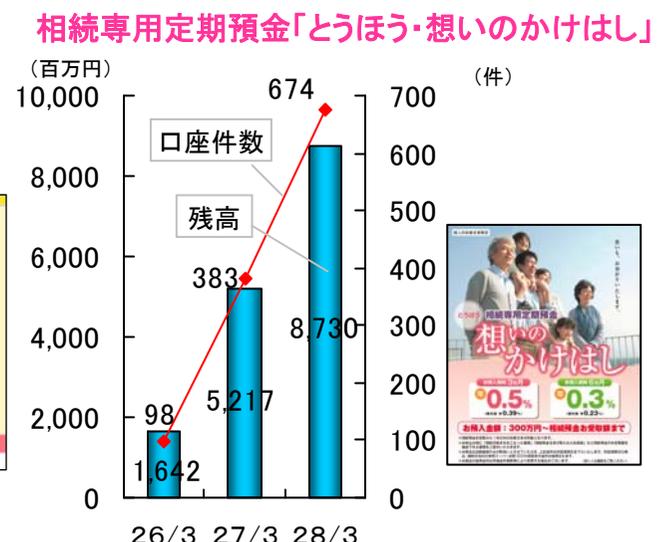
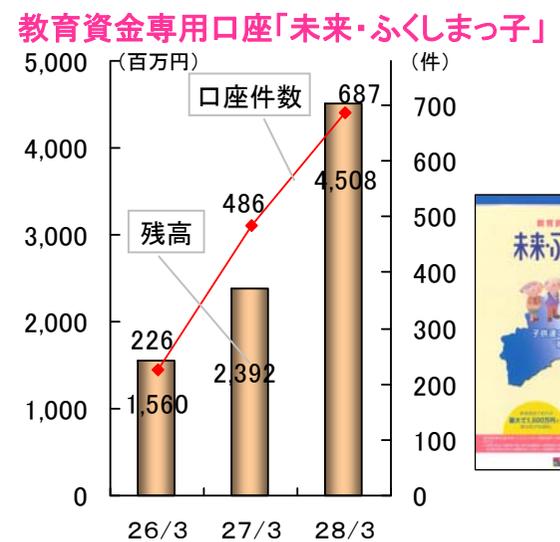
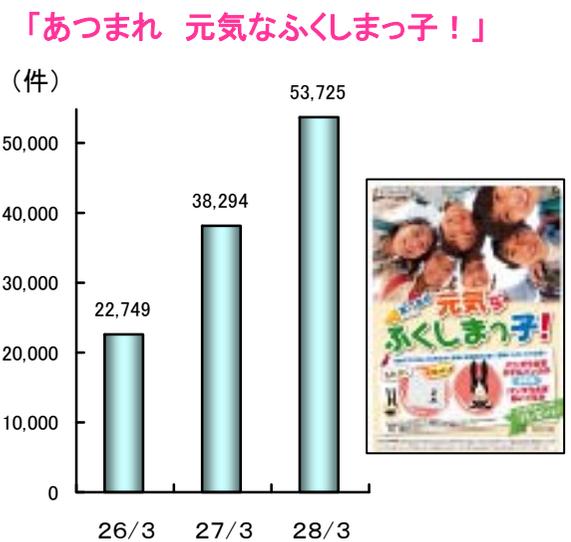
	企業数	従業員数	融資額
支援協議会	13	1,016	133
地域経済活性化支援機構	3	1,411	114
その他私的再生	24	2,433	303
法的再生	5	1,622	208
合計	45	6,482	758

<主な連携外部機関>

- 地域経済活性化支援機構
- 福島県中小企業再生支援協議会
- 福島産業復興機構
- 東日本大震災事業者再生支援機構
- 個人版私的整理ガイドライン運営委員会

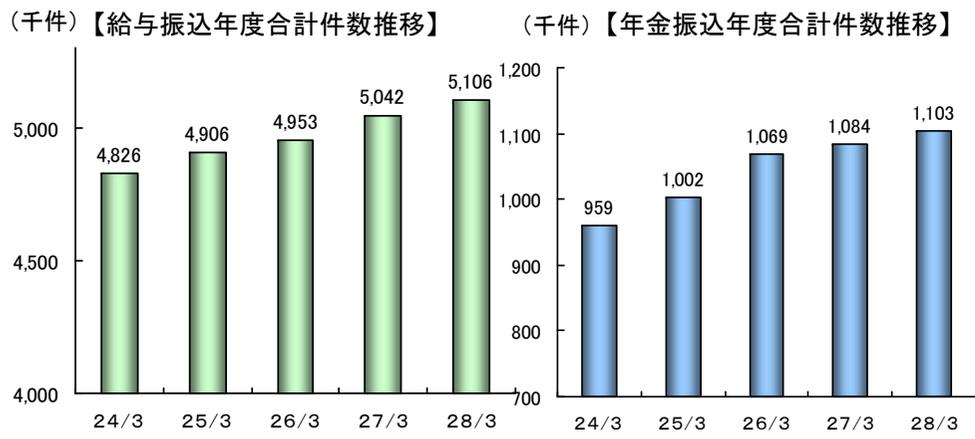
3. お客さまから選ばれる銀行づくり (1) 個人のお客さまに向けた取組み

「赤ちゃん世代」から「シニア世代」まで、ライフサイクルに応じて多様なニーズに対応した商品をご提案



集まる預金の仕組みづくり

〇お客さまとのお取引の基礎となる**給与振込口座・年金振込口座**ご指定を推進



東邦 Always カード (銀行本体発行)

ICキャッシュ&クレジット一体型カード

東北地銀初

30万会員到達
(平成27年9月25日)

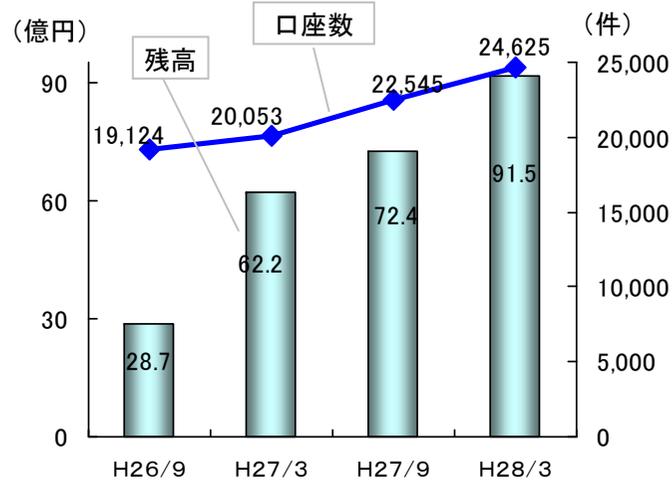
東北地銀初 デビットカード<JCB> (平成28年6月取扱開始)

- 〇利用代金を口座から即時決済
- 〇国内外問わずJCB加盟店で利用可能



3. お客さまから選ばれる銀行づくり (2) 資産運用のお手伝い

NISA (少額投資非課税制度)



○ジュニアNISAの取扱開始

「ほけんの相談窓口」

【店舗一覧】

- ローンプラザ福島支店
- 八山田支店
- 滝沢支店
- 新白河支店
- いわき鹿島支店



ペット保険の取扱い開始

「どうぶつ健保ふぁみりい」

- 「ほけんの相談窓口」専用商品
- 治療費が高額になりがちなペットの医療に関するニーズにお応えする商品



とうほう証券株式会社の開業

東北・北海道地区 「初」の地銀系証券

○お客さまの様々な
資産運用ニーズに
ワンストップで対応

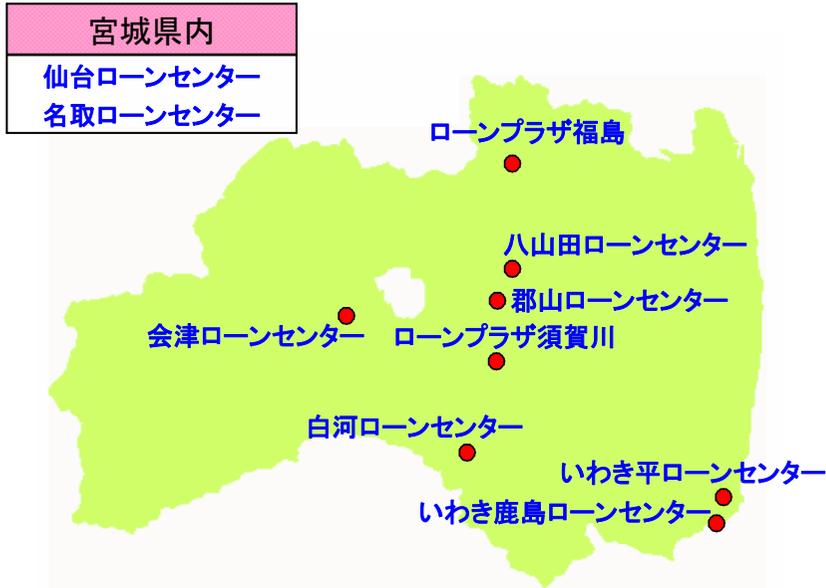


平成28年4月5日 福島支店オープニングセレモニー



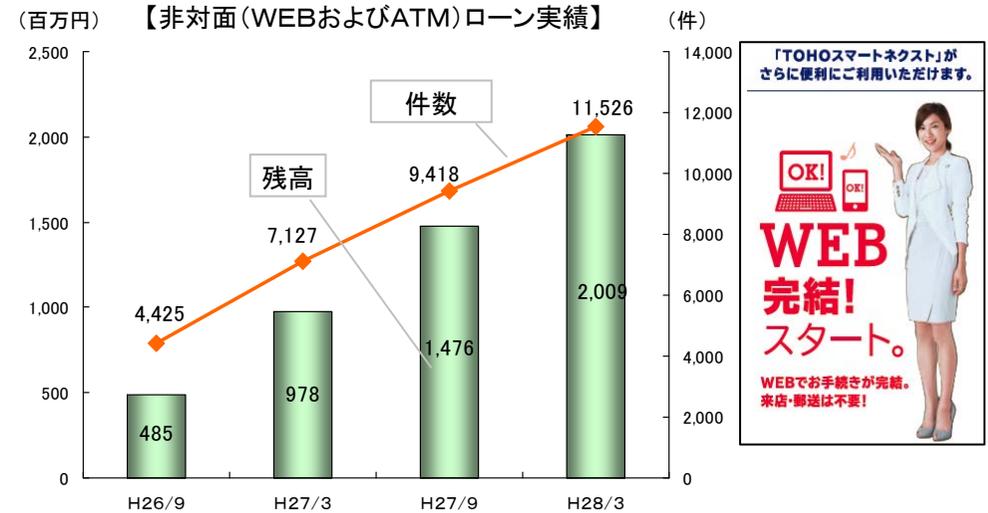
3. お客さまから選ばれる銀行づくり (3) 個人のお客さま向けローンの取組み

ローン専門店の体制 (福島県内8カ店・宮城県内2カ店)

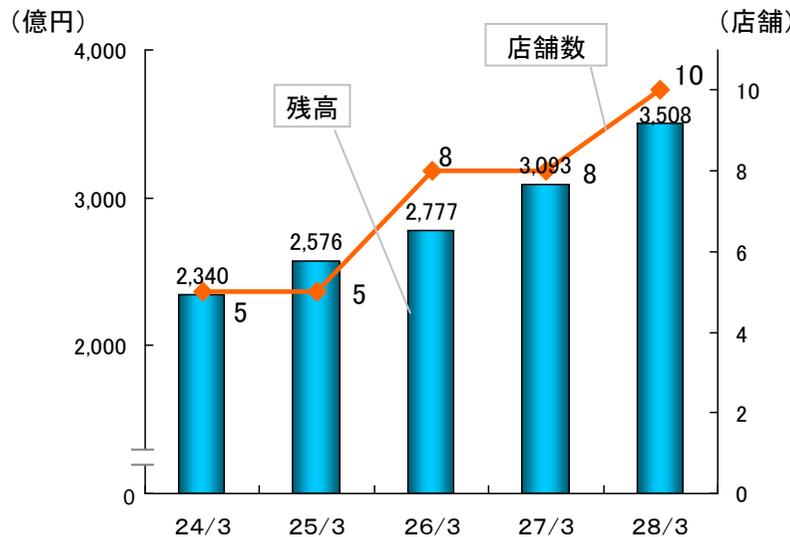


非対面チャネルによるローン申込み

OTOHOスマートネクストの「WEB契約」取扱開始(平成27年10月～)
OATMカードローン



ローン専門店数・個人ローン残高推移



住宅ローンの推進

○「東邦スーパー住宅ローンプラス7」

住宅資金のほか最大700万円まで
教育資金・マイカー資金などおとりまとめが可能



女性のお客さま向けローン商品

○レディース住宅ローン「きらら」

○輝く女性のフリーローン「キララ」

女性のお客さまの“なりたい夢”の
お手伝い



【住宅ローン】

【フリーローン】

3. お客様から選ばれる銀行づくり (4) 店舗・チャネル戦略

店舗戦略（平成27年度の取組み）

山形県へ20年ぶりの出店

山形県【店舗新設】
米沢支店（28年4月）
仮店舗オープン



宮城県内3店舗目の出店

宮城県【店舗新設】
名取支店（27年7月）



会津地区初休日営業店舗

【新店舗オープン】
滝沢支店（27年10月）



5年ぶりの再開

【店舗再開オープン】
楡葉支店（28年4月）



<土・日営業実施店舗>

- 八山田支店
- 北福島支店
- 郡山東支店
- 谷川瀬支店
- いわき鹿島支店
- 滝沢支店

東邦銀行ならではのATMサービス

ますます便利に！

店内ATMコーナーの
営業時間は

毎日朝7時～夜10時

いつでもご利用OK!

東邦銀行本支店宛の
お振込みは

毎日朝7時～夜10時

土日もすぐお振込み!

お預入れ、お引出しは

毎日朝7時～夜10時

いつでも無料!

移動店舗車「とうほう・みんなの移動店舗」

○避難されているお客様へ利便性提供

【営業体制（平成28年5月中旬より）】

	月	火	木	金
営業ポイント	いわき ニュータウン	富岡町	富岡町	南相馬市 小高地区
営業時間	10:00 ～14:00	10:30 ～13:30	10:30 ～13:30	11:00 ～13:00

○不測の事態にも金融サービスを
提供できる体制整備



3. お客様から選ばれる銀行づくり (5) お客様満足度 (CS) 向上への取組み

お客様満足度向上への取組みの評価

○銀行リテール力調査 (店舗環境・接客、接客スキル
商品説明、電話対応、商品充実度など)
総合ランキング 117行中で **全国12位**

順位	総合得点 (300点満点)	銀行名
1	249.7	新生銀行
2	248.2	三井住友銀行
3	244.2	イオン銀行
4	242.2	スルガ銀行
5	241.4	みずほ銀行
12	229.7	東邦銀行
13	228.6	中国銀行
14	226.0	池田泉州銀行
15	225.5	佐賀銀行

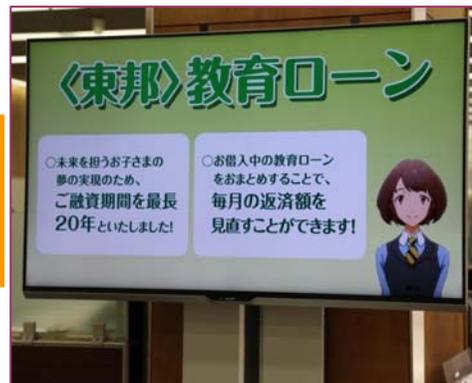
○金融機関ランキング調査

顧客満足度地方ランキング 北海道・東北地銀 **第1位**
(出所: 日本経済新聞社)

大型ディスプレイシステムの機能向上

- システムサイズアップ
- 表示内容追加

地域別・営業店別情報の表示
動画ニュース
CSR情報



卓上型対話支援システム「COMUOON (コミュニケーション)」

**全店配置
東北地銀「初」**



平成28年10月までに
全店配置予定

○窓口担当者の声を
明瞭にし、聴く側の
聴こえを支援する機器



人型ロボット「Pepper(ペッパー)」

こんにちは!
ペッパーです!

県内金融機関「初」

【配属店】
本店営業部・郡山営業部
会津支店・いわき営業部
名取支店

＜勤務内容＞

お客様へのご挨拶
各種商品、キャンペーン等のご案内



4. 持続可能な企業体質の確立 (1) 地方銀行連携・フィンテック分野への取り組み

TSUBASA金融システム高度化アライアンスへの参加

TSUBASA金融システム 高度化アライアンス



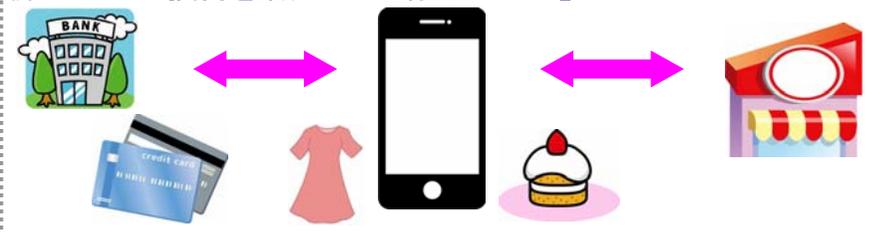
共同出資会社設立
(平成28年7月予定)

フィンテックを活用した新たな
ビジネスモデルを共同で検討

株式会社マネーフォワードとの資本業務提携・出資

- 家計簿アプリサービスの共同開発
- 法人向け経営支援サービスを基盤とした与信モデル構築の協業

FinTech(フィンテック)とは「Finance」と「Technology」の2つを併せた「IT技術を活用した金融サービス」



4. 持続可能な企業体質の確立 (2) 人材育成への取り組み

研修所「とうほう庭坂キャンパス」全面リニューアル



東北地銀初

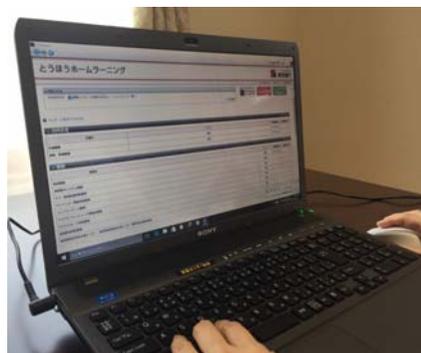
「模擬店舗」

窓口業務を実際の設備で
学ぶことができる施設



eラーニングシステム「とうほうホームラーニング」

- 自宅のパソコンで
在宅による自己啓発
業務知識の習得



行外研修派遣

○派遣数は**地方銀行トップクラス** 毎年200名以上派遣

【主な派遣実績】

- | | |
|--------------------|---------------|
| ○地方銀行協会研修・留学 | ○大手シンクタンク |
| ○メガバンク等金融機関 | ○大手税理士法人 |
| ○大手証券会社 | ○大手監査法人 |
| ○大手不動産会社 | ○国、県、市などの官公庁 |
| ○大手商社 | ○大学院、ビジネススクール |
| ○大手M&A仲介会社 | ○官民ファンド |
| ○大手再生可能エネルギー関連事業会社 | 他 |

海外研修派遣

当行独自

○**米国(ワシントン・ニューヨーク)**への派遣を

毎年継続実施

平成18~27年度累計 派遣実績

170名

○平成27年4月に**ベトナム**への派遣を
初開催

第1回派遣者

20名

○平成28年2月に

東南アジア(タイ・シンガポール)への
派遣を初開催

第1回派遣者

15名



○**地銀協海外研修**などの、

各種海外研修等に派遣(東南アジア・米国・ヨーロッパ)

平成27年度 派遣実績

5名

4. 持続可能な企業体質の確立 (3) 多様な働き方の推進と働きがいの向上

「仕事と家庭の両立」支援体制の拡充

全国初

独自の休暇
“イクまご休暇”

10名取得
(うち男性1名)

(平成28年3月31日現在)

- 孫のための育児休暇制度
- 働く親世代を支援する取組み



当行2カ所目

職員向け保育施設
“とうほう・みんなの
キッズらんど郡山”

利用者数(福島・郡山)
計31名

(平成28年4月1日現在)



県内初

“イクボス企業同盟”

- ワーク・ライフ・バランスを
応援する上司を養成する
企業ネットワークに加盟



女性の活躍推進

女性活躍推進法に基づく行動計画の策定

- 計画期間
平成28年4月1日～平成32年3月31日
- 目標
全役席者に占める女性の割合 **20%以上**
女性総合職の平均勤続年数 **15年以上**

「多様な働き方(ダイバーシティ)」の支援

「朝型勤務」の実施

毎朝6:30から勤務可能

業務効率の上がる
労働時間の“朝型シフト”



ベテラン、シニアの活躍支援

(平成28年3月31日現在)

60歳から65歳まで

◆毎日勤務、ポスト職への登用 **18名**

65歳から70歳まで

◆「シニアサポーター」として活躍 **16名**

パートタイム労働者(パートナー)の活躍支援

厚生労働省

「パートタイム労働者活躍推進企業表彰・奨励賞」受賞

【主な取組み】

- 「パートナー支援室」の設置
- 客観的な評価の実施
- 積極的な行員・嘱託への登用



4. 持続可能な企業体質の確立 (4) 活発なクラブ活動

「陸上競技部」「野球部」をはじめ「吹奏楽部」「合唱部」など15クラブ総勢300名が活動中

【陸上競技部】



陸上世界選手権
女子1,600mリレー
日本代表に2名が選出



4×200mリレーの
日本新記録を樹立
(30年ぶりの更新)



全日本実業団
女子総合5連覇達成



日本パラ陸上競技選手権
女子100m・200mで優勝
(視覚障害T13クラス)
200mでは日本記録を更新

【野球部】



県早起き野球大会
史上初4連覇達成



TOHOカルテット



吹奏楽部



合唱部



そば打ちクラブ



シーガルトテニスクラブ



ランナーズクラブ



「とうほう・みんなのドリーム号」

- 研修や野球部など行内クラブ活動時に活躍
- 災害時の人員・物資輸送等にも活用

4. 持続可能な企業体質の確立 (5) 地域貢献活動（CSR）の取組み

チャレンジド(障がい者)雇用への取組み

株式会社 とうほうスマイル

東北・北海道地区の地銀「初」の
ハンディキャップを持つ社員が中心
となる特例子会社



○東邦銀行グループ障がい者雇用
総数 **63名** (平成28年4月1日現在)

「障害者雇用促進法」
法定雇用率**2%超の水準**

(公財)東邦銀行教育・文化財団による助成・奨学金事業

文化・スポーツ活動助成事業

これまでの助成実績
助成先 **約800団体**
助成総額 **約1億円**

奨学金事業

これまでの給付実績
奨学生 **約450名**
給付総額 **約2億6千万円**

ネーミングライツ(命名権)の取得

スポーツ活動振興

名称 **「とうほう・みんなのスタジアム」**
期間 平成25年5月～平成30年3月



文化活動振興

名称 **「とうほう・みんなの文化センター」**
期間 平成28年4月～平成33年3月



金融経済教育の推進

「スチューデントシティ・いわき」

- 小学生を対象とした擬似体験施設
- 当行は金融機関として唯一出展



とうほう親子金融教室

- 子どもたちに「お金の使い方」「銀行業務」
について理解を深めることを目的に開催



エコノミクス甲子園福島大会

- 県内の高校生を対象に金融経済
の仕組みを楽しく理解してもらう
ことを目的に開催



- 平成24年度以降
87チーム174名参加

環境保全活動

とうほう・みんなの森づくり

- 平成21年度より実施
している役職員や家族
による植林活動



本資料には、将来の業績に係る記述が含まれておりますが、こうした記述は、将来の業績を保証するものではありません。

将来の業績は、経営環境等の変化等により異なる可能性がありますのでご留意ください。

<本資料に関するお問い合わせ先>

東邦銀行 総合企画部

TEL 024-523-3131

FAX 024-524-1425